

KAZAMAURA



MIRAI

未来への希望

風間浦村勢要覧2024
Kazamaura Village Guide 2024

風間浦村勢要覧2024

未来への希望



風間浦村勢要覧2024

令和7年3月発行

■発行・編集

風間浦村役場（企画政策課）

〒039-4502 青森県下北郡風間浦村大字易国間字大川目28-5

TEL 0175-35-2111 FAX 0175-35-2403

ホームページ <https://www.kazamaura.jp/>

風間浦村HP



■制作・印刷

協同印刷工業株式会社

青森県むつ市金曲1-15-8 TEL 0175-22-2231

※紙面の情報は令和7年3月現在のものです。

名前や金額など情報に変更となる場合があります。予めご了承ください。



ご協力いただいた村民の皆さま、ありがとうございました。

風間浦 ∞ 未来

本州最北端の村「風間浦村」の未来は無限大。

未来への希望、未来への可能性、
風間浦の未来「KAZA ∞ MIRAI」

CONTENTS

- 03 風間浦 ∞ 四季を感じる
 - ・観光とイベント
 - ・食の魅力
 - ・祭りと伝統
- 11 風間浦 ∞ 名湯
 - ・下風呂温泉郷
- 13 風間浦 ∞ 歴史
 - ・135年間の歩み
- 19 風間浦 ∞ 偉人
 - ・風間浦の未来を拓いた人々
- 20 風間浦 ∞ 漁業
 - ・漁業を支える礎
- 21 風間浦 ∞ 自然
 - ・下北ジオパーク
- 23 風間浦村長 ∞ 未来を語る
 - ・子どもたちが考える未来とは
- 27 風間浦 ∞ 教育
 - ・未来を担う子どもたち
- 31 風間浦 ∞ 医療と福祉
 - ・健康な未来へ
- 32 風間浦 ∞ 議会と行政
 - ・村のよりよい未来のために
- 33 風間浦 ∞ プロフィール
- 34 風間浦村資料編

村勢要覧 発刊にあたって

私たちのふるさと風間浦村は、本州最北端下北半島の北西部に位置し、東部と南部はむつ市大畑町に隣接、北部は津軽海峡に面する海と山に囲まれた自然豊かな漁業と観光を主産業とする村です。

明治22年、旧下風呂村、旧易国間村、旧蛇浦村が合併し、「風間浦村」が誕生して以来、135年が経過しております。

日本の国全体が人口減少の時代に入り、社会情勢は著しく変動し、少子高齢化対策、雇用対策など村を取り巻く環境は大きく変化し

ております。

このような中、小さいながらも自然の恵み豊かな当村は、全国各地の風間浦村を愛する皆様からのご支援をいただき、「村民が生きがいと幸せを実感できる持続可能な風間浦村」を目指し、災害に強い活力ある村づくりに努めております。

この村勢要覧は、わが村の歩み、わが村の姿、そして未来への展望をまとめましたので、ご覧いただくとともに、これからの風間浦村のまちづくりにお力添えをいただければ幸いです。

風間浦村長

富岡

宏





KAZA ∞ MIRAI

風間浦の四季 を感じる

「観光とイベント」

青森県風間浦村は、本州最北端の地・青森県下北半島の北西部に位置する自然に恵まれた地域です。豊富な水産資源を中心とした漁業と下風呂温泉を活用した観光により発展してきました。

「下北ゆかい村」とは「湯」と「海」で、身も心も解きほぐしてもらいたいという意味をこめた、風間浦村の別称です。

津 軽 海 峡

② 下風呂温泉郷

⇒詳しくは、P11へ

下風呂温泉郷は、津軽海峡に面した本州最北端の温泉郷として知られる静かな温泉地です。歴史と自然が調和するこの温泉郷は、泉質が豊富で、さまざまな効能が期待できる温泉が楽しめます。周辺には美しい海岸線や山々が広がり、温泉街の風情ある景観とともに、心身ともにリフレッシュすることができます。年間を通じて四季折々の風景が楽しめるため、訪れるたびに異なる魅力を発見できる場所です。



③ 二見岩

〔海峡いさりび公園内〕

海峡いさりび公園内にある二見岩は、魅力的な観光スポットの一つで、その歴史と自然の美しさが融合しています。二つの巨岩が海中からそびえ立ち、その独特な姿は自然が作り上げた芸術作品のようです。古くから地元の信仰の対象として尊ばれており、漁業者や航海者の安全を祈る場所として知られてきました。青空の下での姿も美しいですが、夕暮れ時には海と岩が織りなすシルエットが一段と幻想的な雰囲気を醸し出します。



観光客に人気！ ① 産地直売所 『ふのりちゃん』

〔期間／4月中旬～11月上旬 時間／9:30～15:30〕

産地直売所「ふのりちゃん」は、大間町に向かう国道279号蛇浦地区の布海苔記念公園内にあります。2013年に地元団体「かざまうら産直友の会」の皆さんによりオープン、新鮮な地元の産品を直接購入できる魅力的なスポットです。旬の野菜やヒバ加工品等地域の特産品を豊富に取り揃えており、特に海産物は訪れる人々に大変人気です。隣には駐車スペースとトイレも完備されており、風間浦村の味と文化を楽しむのに最適な場所です。



風間浦村の名産品

津軽海峡の荒波により育まれた昆布・布海苔・ひじき・わかめは、栄養分もミネラルも豊富に含まれています。「風間浦鮫鰯」は地域団体商標の認証を受け、活かしたまま水揚げされ、活締めされることから高品質・高鮮度の食材として評価が高まっています。風間浦村の大部分を占める山林地帯には青森ヒバが植生しています。抗菌、防虫、消臭・脱臭、精神安定効果がみられるため、多くの方に支持を得ています。消臭剤から家具・食器、家に至るまで幅広く、末永く愛用できる品がたくさんあります。





2・3月

⑪ 布海苔採り体験ツアー

【開催日／毎年2月・3月】

冬の自然の中で特別な体験ができる風間浦村の布海苔採り体験ツアーは、美しい津軽海峡の海岸線を散策しながら、磯場で布海苔採りができます。採取した布海苔はお土産として持ち帰ることができ、布海苔採りの後は、冷えた体を下風呂温泉で温め、新鮮な海の幸を使った地元の食文化を堪能できます。このツアーは、自然と触れ合い、地元の伝統を体験したい方におすすめです。



3月

⑩ 風間浦鮫鯨感謝祭

【開催日／毎年3月第2土曜日】

風間浦村の「鮫鯨感謝祭」は、毎年冬に開催されるイベントで、国内での知名度も上がっている地域ブランド「風間浦鮫鯨」が味わえます。この祭りでは、生きたまま水揚げされた鮫鯨を使用した「鮫鯨汁」や「鮫鯨鰯」が販売され、地元の人々や観光客で賑わいます。また、「鮫鯨の吊るし切り実演」、「鮫鯨との記念撮影」などが行われ、地域の文化と観光を促進する重要なイベントとなっています。



7月



⑫ ゆかい村海鮮どんぶりまつり

【開催日／毎年7月第2土曜日】

毎年7月に下風呂漁港特設会場で開催される、夏の始まりに相応しいイベントです。風間浦村で採れた津軽海峡の「ウニ・アワビ・イカ（※漁獲量により変更場合があります）」を贅沢に海鮮どんぶりで販売し、新鮮な海の幸を存分に味わえるまつりです。そのほかに、下北近隣の名産品の販売、ゲームやコンサートなどの催しもあります。夜には、漁り火をバックに夜空を大輪の花で彩る花火大会が開催され、家族連れや観光客で賑わいます。

④ 漁火

風間浦村の漁り火は、自然と人間の営みが融合する幻想的な光景です。イカ漁が行われる時期には、漁船が夜の海を照らし出し、灯台のように漂う光が水平線に並び、まるで星空のように海面を彩ります。この美しい幻想的な光景は、訪れる人々に癒しと感動を与えてくれます。風間浦村の漁り火は、忙しい日常を忘れさせてくれる特別な体験です。



⑤ 活イカ備蓄センター

活イカ備蓄センターは、活イカの貯蔵と供給を行う施設です。地域の漁業資源を有効活用し、持続可能な漁業を支える重要な役割を果たしています。また、イベント時には新鮮なイカを活用した催しや、観光客向けの体験プログラムなどが開催され、地域活性化にも貢献しています。センターは地元の文化と漁業を紹介する場として、多くの人々に親しまれています。



⑥ 易国間川溪流

易国間川溪流は、自然の美しさと豊かな生態系が魅力です。清らかな流れと四季折々の風景が訪れる人々を魅了します。春には新緑が芽吹き、夏は涼やかな水音が心地よい避暑地となります。秋には紅葉が溪流を彩り、冬は静寂の中で雪景色を楽しむことができます。また、川沿いでは釣りやハイキングが楽しめ、自然と触れ合う絶好のスポットです。訪れる人々に安らぎと癒しを与える風間浦村の隠れた名所です。



記念碑・文学碑



⑨ 井上靖文学碑

日本の著名な作家である井上靖。小説「海峡」は、漁り火の見える温泉として、下風呂温泉郷が全国的に知られるきっかけとなりました。文学碑は、風間浦村村制施行百周年の記念事業として、平成元年に海峡いさりび公園の中に建てられ、氏に碑文を依頼すると、「アカエリヒレアシギ」というタイトルの散文詩が碑に刻まれました。ここは訪れる人々にとって、井上靖の作品の世界感を彷彿させるような場所となっています。



⑧ 布海苔投石事業発祥の地記念碑

蛇浦地区の国道沿いの津軽海峡を見下ろせる駐車帯の一角に建てられた「布海苔投石事業発祥の地」記念碑は、地元の伝統的な布海苔漁業の歴史を称えるものです。この記念碑は、布海苔の養殖技術が発祥した地を示しており、地域の漁業文化と経済発展に寄与した功績を讃えています。記念碑の建立は、地元の歴史を後世に伝えるための重要な象徴となっています。



⑦ 新島襄寄港記念碑

海峡いさりび公園内の新島襄寄港記念碑は、明治時代のキリスト教宣教師である新島襄が1864年にこの地を訪れたことを記念して建てられました。彼の訪問は、地域の教育や文化に大きな影響を与え、今では同志社との交流も交わされています。新島襄の思い出の地に建てられた記念碑は、風間浦村の歴史と文化を象徴する重要なランドマークとなっています。



KAZA ∞ MIRAI

風間浦の四季 を感じる 「祭りと伝統」



KAZA ∞ MIRAI

風間浦の四季 を感じる 「食の魅力」



うに

風間浦の鮫鯨

風間浦鮫鯨の漁期は12月～3月。漁場は餌が豊富な津軽海峡に面しており、潮の流れが早い荒波で育まれた鮫鯨の身は、甘く引き締まっていて味も抜群です。

全国でも珍しい鮫鯨の刺身を食べることができるのは、風間浦村の漁場条件の良さと、老舗鮫鯨料理店直伝の活締め技術があるから。その価値が認められ、鮫鯨としては初の地域団体商標に登録されました。



いか



海産物

- ・わかめ
- ・昆布
- ・ひじき
- ・布海苔
- ・布海苔そば



8月

14 八幡宮祭典

桑畑地区

八幡宮は易国間字湯ノ上に鎮座し、享保年間(1716年～1736年)の勧請。子供に郷土愛を育てる願いを込めて父兄の寄付金で山車を新造して運行するようになりました。昔は10月に行われていましたが、若者の出稼ぎが増え人手不足になった為、帰省する盆中が良いのではないかとということで、8月14日に宵宮、15日に例祭を挙行するようになりました。家族ぐるみで運行する船山車が、町内を練り歩く八幡宮祭典では、帰省中の人達も一緒に参加して年に一度の祭典を楽しみます。



5月

19 桑畑立石大明神

桑畑地区

桑畑地区の山中に、古くから海の守り神として信仰を集める巨岩がそびえ立っています。桑畑漁港から2キロメートルほど登った場所にある高さ25メートル、幅約8メートルもの巨岩を人々は立石大明神と崇め、毎年5月8日に登山し、豊漁と海上安全を祈願します。その昔、一人の漁師が時化に見舞われ、発生した霧により視界も失ってしまい、神頼みしかなくなった漁師は、立石大明神に祈ったところ、霧の中に灯りがとまり、それを頼りに船を進めたら、桑畑の海岸にたどり着いたと伝えられています。

8月



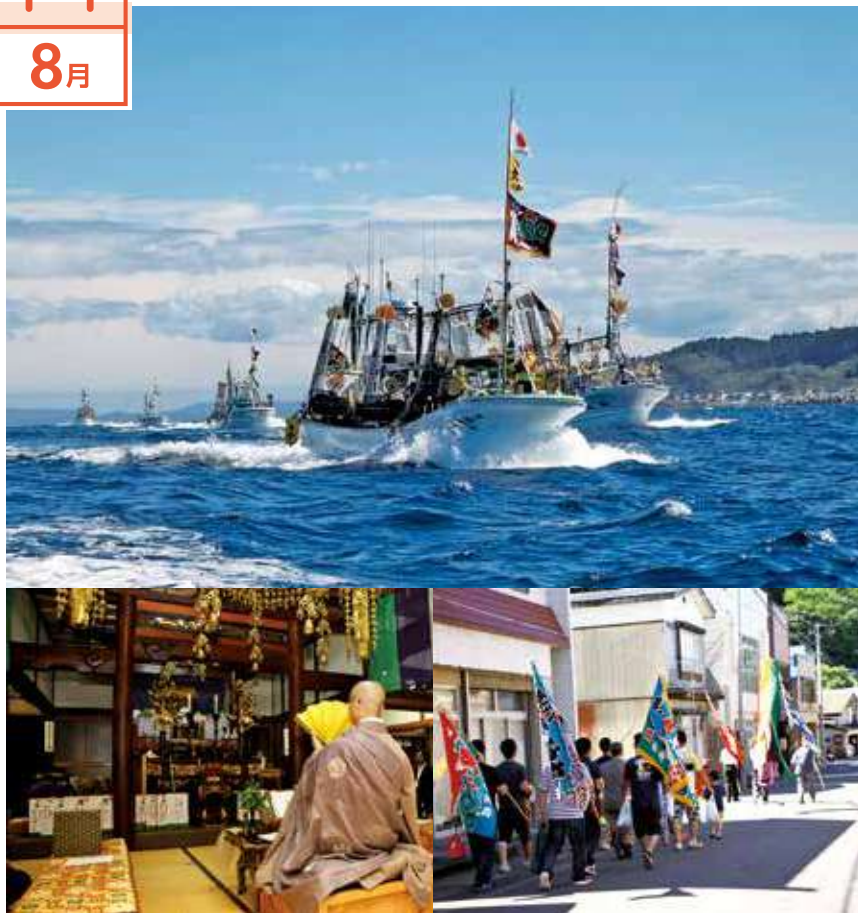
蛇浦地区

⑪ 折戸神社祭典

折戸神社は蛇浦字赤平に鎮座し1617年の勧請。この祭典は、8月14日の宵宮に厳肅に、古式の作法で行われる遷座式から始まります。

折戸神社の奥の院に鎮座する御神体を昔からの習慣で、遷座式を挙行しているのは、むつ・下北地域では珍しい行事です。奥の院の神様は女神様で、昔火事があったとき、空から火を消したと云われる伝説も残っています。

8月



下風呂地区

⑮ 龍神祭

龍神祭とは、下風呂の漁民に信仰のあつい自由寺で、明治17年から毎年、漁船の大漁祈願と海上安全を祈願する大切な神事です。

初日26日は宵宮で、自由寺にて曹洞宗・僧侶と船主全員が集合して大祈禱会が行われます。27日は本祭りで、まず龍神像とそれを護る僧侶が乗船する所謂、御座船を決めるくじを行います。御座船に選ばれた船は一年間大漁に恵まれるという言い伝えがあります。

御座船を先頭に、各漁船は、大漁旗を風になびかせ、焼山沖から甲沖まで海上運行事、最後に下風呂漁港にて祈願札を海底に沈める納札儀式は圧巻です。

易国間地区

⑩ 大石神社祭典

大石神社は易国間字家ノ上に鎮座し延宝6年(1678年)の勧請。

9月16日の宵宮に始まり、17日・18日の例祭日です。他町村の船山は北前船を模したものが多くですが、易国間の船山の原型は「おこし舟」(漁船型)を模倣したものだと言われています。「ヤレヤレヤレー」の威勢のよい掛け声とともに、襦袢姿の若者達が引く船山車が、町内を練り歩きます。



9月

下風呂地区

⑬ 若宮稲荷神社祭典

若宮稲荷神社祭典は村内唯一の秋のお祭りです。稲荷神社は下風呂字湯ノ上に鎮座し、明暦3年(1657年)に勧請されました。今の船山は3代目「若宮丸」で、後ろには見送りや鉾や旗など色々な装飾がなされとても華やかです。

夜には下風呂地区の町並みに提灯が灯り、船山も屋間の飾り物を下ろし、行燈等をつけ又違った雰囲気を楽しめます。囃子は主に小・中学生が「本囃子」「通り」「酒盛り」「帰り」などを演奏します。フィナーレを飾る激しい舞い『狂い獅子』は、寒さを吹き飛ばす様な情熱と迫力があり観る者を虜にさせ、最後は全員で車座になり、賑やかにお囃子を奏で、幕を閉じます。



10月

風間浦の名湯

「下風呂温泉郷」



津軽海峡に面し、本州最北端の温泉郷として知られる「下風呂温泉」。

歴史をさかのぼると室町時代より刀傷に効く温泉として湯治客で賑わっていたといいます。海の近くでは珍しい硫黄泉で、どこか懐かしい風情の温泉街で、作家の井上靖や同志社大学創立者の新島襄などにも愛されました。

津軽海峡に広がる漁火を眺めながらの温泉は、幻想的で旅情をかき立てられます。

下風呂温泉『海峡の湯』

下風呂温泉「海峡の湯」は、下風呂温泉郷にある温泉施設です。2つの硫黄泉「大湯」と「新湯」はその昔「万病に効く良い温泉」として、武士や農民を癒してきました。かつては昭和の文豪も訪れ、その白濁したお湯と硫黄の香りに唸った、風間浦村自慢の温泉。下風呂温泉郷の入り口に建つこの施設。

大きな窓一面から見えるのは、本州と北海道を隔てる津軽海峡。天気の良い日は海の向こうに北海道を望むことができ、夜には漁船の漁火を眺めながら湯に浸かれます。海峡の湯を包み込むのは、日本三大美林の一つ「青森ヒバ」。香木とも呼ばれ、その爽やかで心地よい香りは落ち着きをもたらしてくれます。湯船やサウナだけでなく、風呂桶や椅子など至るところが村特産の青森ヒバで包まれた、こだわりの空間です。2階には「下風呂ゆかりの人たち」の展示室があり、かつて下風呂温泉郷を訪れた文人たちの記録を展示。井上靖が宿泊した「長谷旅館」を再現した客室や、執筆した散文詩のレプリカが展示され、いにしえに思いを馳せる空間になっています。



桑畑温泉『湯ん湯ん♪』

津軽海峡を見下ろす高台の温泉施設。2002年に桑畑小学校跡に建てられました。昼は津軽海峡を隔て北海道が一望でき、夜は漁り火を間近に眺められる景色の良さは最高です。

風呂は、内風呂と露天風呂があり、特に露天風呂からの眺めは素晴らしいです。ヒバ造りの中温サウナもあります。温泉の湯は、白く濁っていてやや熱めで体の芯まで温めてくれます。食堂や休憩室もあり、温泉で温まったあとは、施設内の飲食スペースでくつろぐのがおすすめです。夜遅くまで営業しているので、ゆったりと楽しめます。

PICK UP
インタビュー温泉と共に生きる人々
おかみの会

「おかみの会」の始まり、きっかけをお聞きしたいです。

たしか、青森の浅虫温泉の女将たちが活動していたのを見て、私たちもやるうじゃないかというものでした。県の旅館組合の女性部というのがあり、総会や会議があると、司会、進行など運営のほとんどを浅虫温泉の女将さんたちが先頭に立ってやられていたのを見て、ぜひ私たちも「おかみの会」を作って何かの時にはという感じで。初代、二代目の会はありましたが、20年ほど前から今の会員も入会し、代替わりもして現在は6名で活動しています。

——下風呂温泉郷を盛り上げるために「おかみの会」から風間浦村に望むことはありますか。

温泉街の環境づくりですね。夏は温泉街も賑わいますが、大湯新湯があった頃は冬も温泉を巡って人の流れもありましたが、今は本当に寂しいので冬にもお客さんに来ていただける環境づくりをお願いしたいです。あと温泉の

供給もきちんと調査して安定供給できるようにお願いしたいです。

——全国的に温泉街が減少傾向にあると思いますが、下風呂温泉郷を盛り上げるために「おかみの会」でやってきたこと、やっていきたいことは。

今まで色々やってきました。メモリアルロードにある足湯の清掃活動や、花を植えての環境づくり、泉質の違いを楽しんで入浴する「遊めぐりツアー」の企画、烏賊様レースへの協力も行いました。前は時間的にも余裕があり、スタッフもそれなりにいたので色々やれましたが、今はそれぞれの女将業が忙しく、実はあまり出ていない状況です。コロナ禍後はお客様も変わってきましたし、物価も高くなり、自分の所の仕事で精一杯でした。

やりたいことは、あれこれありますが、それを動かすためにはやっぱり人も必要だし。今活動していることは、主に半纏を着て様々なPR活動に参加することです。数年前の大雨災害やコ

ロナ禍に活動の一環で、温泉郷を元気づける歌として、昔歌われていた「下風呂小唄」を復興支援ソングとして歌い始め、新しく作った踊りとともに広めています。

——青森県ですが、全国的にインバウンドに対応できるようにサービス等に力を入れています。下風呂温泉では外国からのお客様は増えていきますか。

台湾などからお客様がいらして少しずつ増えています。まだそれほど多くはないですね。外国からのお客様の受け入れ体制も整えていかなければいけないのですが、まだインバウンドに対応したPRはあまりしていませんのでこれからです。まずは国内のお客様に満足していただけるようなおもてなしができるように頑張っています。

——下風呂温泉郷の魅力はどんなところでしょうか。

お店の人もそうですし、道を歩いている方、小学生の子どもたちも、フレンドリーにみんな接してくれて、小さな村ならではの感じがしますね。ほっこりした気持ちになるし、漁り火や海、山の自然環境も楽しめて、温泉や海の幸も満喫できるのが、下風呂温泉郷の魅力ではないでしょうか。

どんな活動をしているの？

風間浦村の下風呂温泉にある「下風呂温泉おかみの会」は、地元の女将さんたちが集まり、温泉街の活性化や観光客サービスの向上を目指して活動しています。

冬には、鮮度抜群で大人気の風間浦鮫鯉の料理を各旅館が提供したり、下風呂温泉郷で歌い継がれてきた「下風呂小唄」を広めるための活動など、地域の文化や伝統を守りながら、新しい取り組みを行うことで、訪れる人々により良い体験、おもてなしを提供することを目指しています。



風間浦の歴史

「135年間の歩み」

風間浦村誕生の概要と地名由来

風間浦村史編集専門委員 故 立花 勇

風間浦村は、本州最北端の地、下北半島の北部に位置し、東は大赤川を境に大畑町に接し、西は折戸坂によって大間町に続き、南に山地を負い北は津軽海峡に面し、海岸線にそって東西に長くのびる漁村である。

本村は下風呂、易国間、蛇浦の三大字より成り、藩制時代この三大字はそれぞれ独立した三つの村であった。

本村東端にある下風呂は往古、湯元と称され古来温泉地として知られたところである。

ここには、大湯、新湯、二ヶ所の湧口があり、ともに硫黄泉であるが、大湯は金瘡及び打撲傷に、又新湯は婦人

病や皮膚病にそれぞれ効能があるといわれ、藩制時代から多くの湯治客を集めてきたところである。

易国間は本村の中央部にあり、旧称湯澤野とよばれていた。かつて享徳・康正の頃（一四四五年前後）下北におこった蛸崎の乱のとき、蛸崎氏は軍馬兵糧を大陸より購入したが、それらを積載した船舶が当時湯澤野とよばれていたこの地に着船したと伝えられ、そのことにちなんでやがて異国の潤と呼ばれるようになる、乱終結後の地名更改により改めて湯澤野を異国潤に、湯元を下風呂に、蛇沼を蛇浦に叫えたといわれている。

また、一説によると、往古この地に蝦夷の酋長アシタカが居住し、この地を蝦夷語でエコンクマと称したので易国間の地名になったともいう。

次に蛇浦は本村の西端に位置し、古くは蛇沼と称したのが後、蛇浦と改められた。この地にはむかし塩を焼く（製塩のための）釜場があったといわれ、漁師たちはむかしからこの蛇の呼称を忌み、蛇浦の地名をきらい釜谷の通称を用いていたという。一説には釜谷は蝦夷語のカマ・ヤに由来する呼称で、カマは平らな岩、ヤは岸又は陸の意であるという。

（中略）

明治維新によって、下北半島は一時黒羽領となり、黒羽藩の支配を受けたが、明治三年旧会津藩の長男、主松平容大が斗南三万石に移封されるにおよび、その支配を受けるようになる。そして斗南藩がその領地である三戸郡の一部と上北下北を十区に分け、各区に戸長を置いたとき、下風呂は第八区に、易国間と蛇浦は第九区に属していた。

廃藩置県の後、明治四年田名部に青森県支庁が置かれたが、同六年に廃されそこに代わって第六大区役所が置かれることになる。この第六大区は五つの小区に分かれており、このとき下風呂は正津川・大畑と共に第三小区に属し、易国間・蛇浦は大間、佐井などと一緒に第四小区に編入されていた。

次いで明治十一年の郡制施行によって、田名部に下北郡役所が、又村々にはそれぞれ戸長役場が置かれたが、同十六年この各村々の戸長役場は廃され、旧小区毎に組合戸長役場が置かれることになり、明治二十二年の町村制施行まで続く。

明治維新より町村制施行までの地方行政の動きは誠に目まぐるしく変り混乱を生みだしていたが、これも明治二十二年四月の町村制施行によってよう

やくおちつくことになる。制度的には、町村制の上に立った新しい近代のはじまりである。

こうして、本村も又明治二十二年四月をもって従来の下風呂村、易国間村、蛇浦村の三村を合し、その一字ずつをとって村名を風間浦村とし、今日にいたっているわけである。



風間浦村の歴史

（西暦）

（年号）

（事柄）

一八八八	明治22年	●町村制施行し、旧下風呂村・旧易国間村・旧蛇浦村の三ヶ村あわせて風間浦村誕生
一九〇三	明治36年3月20日	●北通り方面の下風呂、易国間、蛇浦で漁業組合を設立
一九一五	大正4年1月4日	●風間浦消防組を組織
一九三三	昭和8年10月1日	●風間浦村で電話取扱を開始
一九三六	昭和11年	●新庁舎完成（現在地）
一九三七	昭和12年9月11日	●豪雨で新湯川決壊のため火災が発生
一九四四	昭和19年2月26日	●風間浦村電話交換業務開始
一九四八	昭和23年2月23日	●蛇浦中学校創立
一九四九	昭和24年5月23日	●県立田名部高等学校易国間分校開校
一九五一	昭和26年12月23日	●易国間漁協認可
一九五二	昭和27年11月1日	●蛇浦漁協認可
一九五五	昭和30年10月7・8日	●易国間大火
一九五九	昭和34年9月27日	●風間浦村教育委員会発足
一九六一	昭和36年4月4日	●豪雨のため甲部落で崖崩れ
一九六三	昭和38年4月	●台風15号襲来により易国間川が氾濫
一九六四	昭和39年12月	●易国間地区中心部大火
一九六五	昭和40年2月	●蛇浦地区簡易水道施設完成、給水開始
一九六六	昭和41年5月	●風間浦村共同火葬場新設工事竣工
一九六八	昭和43年5月16日	●甲地区簡易水道施設完成、給水開始
一九七〇	昭和45年4月1日	●易国間地区簡易水道施設完成、給水開始
一九七二	昭和47年4月	●下風呂地区簡易水道施設完成、給水開始
一九七三	昭和48年3月	●下風呂地区簡易水道施設完成、給水開始
一九七四	昭和49年4月	●易国間小学校鉄筋校舎新築
一九七五	昭和50年3月	●十勝沖地震、マグニチュード7.8、下北・上北地方の被害甚大
一九七六	昭和51年11月	●大間、蛇浦間完全舗装竣工
一九七八	昭和53年5月	●易国間保育所開設
	昭和54年7月	●中央公民館（鉄骨）、蛇浦公民館新築
	昭和55年8月	●風間浦村章が制定される。
	昭和56年10月	●蛇浦保育所開設
	昭和57年10月	●下風呂公民館（鉄骨）新築
	昭和58年10月	●桑畑地区簡易水道施設完成、給水開始
	昭和59年10月	●集中豪雨による大災害発生
	昭和60年10月	●下風呂保育所開設
	昭和61年10月	●易国間・下風呂小学校創立100周年
	昭和62年10月	●田名部高等学校風間浦分校開校となる。
	昭和63年10月	●蛇浦小学校100周年記念
	昭和64年10月	●桑畑分館完成
	昭和65年10月	●国道279号下風呂バイパス線完成
	昭和66年10月	●風間浦、易国間局電話がダイヤル式となる。
	昭和67年10月	●易国間診療所新築（歯科診療所含む）
	昭和68年10月	●甲集会所完成





風間浦村の歴史

		(西暦)	(年号)	(事柄)
一九七八	昭和53年11月	昭和53年11月	昭和53年11月	●下風呂診療所新築(歯科診療所含む)
	昭和54年4月	昭和54年4月	昭和54年4月	●アワビ増殖事業着手(中間育成施設)
	昭和55年5月25日	昭和55年5月25日	昭和55年5月25日	●村立あわび増殖センター起工式
	昭和57年8月	昭和57年8月	昭和57年8月	●村立あわび増殖センター完成
一九七九	11月25日	11月25日	11月25日	●蛇浦漁港開港式
一九八〇	昭和58年5月13日	昭和58年5月13日	昭和58年5月13日	●大間原発立地環境調査説明会
一九八二	26日	26日	26日	●日本海中部地震官ノ尻付近の国道279号線に落石
一九八三	6月14日	6月14日	6月14日	●統合中学校用地造成工事着工式
	7月26日	7月26日	7月26日	●引渡式
	10月1・2日	10月1・2日	10月1・2日	●第1回陸奥湾一周駅伝競走大会、村の部10位
	昭和59年7月22日	昭和59年7月22日	昭和59年7月22日	●風間浦中学校新築工事並びにグラウンド整備工事の着工式
	昭和61年3月	昭和61年3月	昭和61年3月	●蛇浦、易国間中学校閉校
	4月7日	4月7日	4月7日	●風間浦中学校開校式
一九八四	昭和62年12月14日	昭和62年12月14日	昭和62年12月14日	●風間浦中学校、野外教育施設新築落成記念式典
一九八六	昭和63年11月24日	昭和63年11月24日	昭和63年11月24日	●下風呂漁港環境整備事業起工式典
	平成元年1月18日	平成元年1月18日	平成元年1月18日	●交通死亡事故ゼロ2千日達成
一九八七	3月22日	3月22日	3月22日	●下風呂中学校閉校
一九八八	25日	25日	25日	●村民憲章と村のシンボル花・鳥・木が制定される。
一九八九	4月1日	4月1日	4月1日	●村制施行100周年記念事業始まる。
	9月30日	9月30日	9月30日	●井上靖文学碑除幕式
	11月5日	11月5日	11月5日	●村制施行100周年記念式典挙行
	10日	10日	10日	●RAB・ATVテレビ中継局完成
	平成2年4月1日	平成2年4月1日	平成2年4月1日	●過疎地域活性化特別措置法施行に伴い過疎地域に指定される。
	10月16日	10月16日	10月16日	●海峽いさりび公園完成
一九九〇	11月4・5日	11月4・5日	11月4・5日	●大雨により桑畑地区の国道が半日ストップ
	平成3年2月19日	平成3年2月19日	平成3年2月19日	●故井上靖追悼式行われる。
	10月16日	10月16日	10月16日	●交通死亡事故ゼロ3千日達成
一九九一	11月3日	11月3日	11月3日	●北海道亀田郡榎法華村と友好村締結
	平成4年2月25・27日	平成4年2月25・27日	平成4年2月25・27日	●同志社大学留学生来村(村内小中学生と交流が始まる)
	3月8日	3月8日	3月8日	●交通死亡事故ゼロの記録が3千145日でストップ
	10月	10月	10月	●広報かざまうら200号達成
一九九二	10月22日	10月22日	10月22日	●新島裏寄港記念碑除幕式
	23日	23日	23日	●清掃センター、憩いの森公園落成式典
一九九三	11月	11月	11月	●海峽の里スポーツ公園「村民憩いの森公園」完成
	平成5年2月26日	平成5年2月26日	平成5年2月26日	●「元祖活イカすくい大会」が第5回あおりもろ活性化大賞を受賞
	3月2・5日	3月2・5日	3月2・5日	●風中2年生の同志社大学での体験入学が始まる。
	15日	15日	15日	●蛇浦・易国間地区にテレビ共同受信施設完成
	4月1日	4月1日	4月1日	●社会福祉協議会が法人化
	27日	27日	27日	●下風呂漁港内に活イカ備蓄センターがオープン
一九九四	7月12日	7月12日	7月12日	●下風呂小学校校舎並びに屋内体育館、クラブハウス建築工事安全祈願祭
	平成6年1月31日	平成6年1月31日	平成6年1月31日	●桑畑・下風呂地区にテレビ共同受信施設が完成
	2・3月	2・3月	2・3月	●布海苔採り体験ツアー始まる。
	平成6年3月20日	平成6年3月20日	平成6年3月20日	●下風呂小学校校舎完成
	4月1日	4月1日	4月1日	●下風呂小学校校舎入校式
	10月5日	10月5日	10月5日	●下風呂小学校屋内体育館、クラブハウス完成
一九九五	12月19日	12月19日	12月19日	●下風呂小学校屋外運動場、外構、屋外環境整備完了
	平成7年1月1日	平成7年1月1日	平成7年1月1日	●救急車運用、救急業務が開始される。
	2月11日	2月11日	2月11日	●下風呂小学校校舎新築落成記念式典
	3月22日	3月22日	3月22日	●同志社中学生在来村
	7月3日	7月3日	7月3日	●活イカ備蓄センター前に、常設の烏賊様レース場がオープン
	10月1日	10月1日	10月1日	●第10回はまなす駅伝大会で風間浦チーム優勝
一九九六	平成8年4月16日	平成8年4月16日	平成8年4月16日	●風間浦観光協会が「元祖イカすくい大会&烏賊様レース」などの活躍が評価され、国土庁長官賞を受賞
	11月17日	11月17日	11月17日	●風間浦中学校創立10周年記念式典開催
一九九七	平成9年4月1日	平成9年4月1日	平成9年4月1日	●風間浦診療所業務開始
	6月19日	6月19日	6月19日	●交通死亡事故「〇」の日継続1千日達成
一九九八	平成10年4月1日	平成10年4月1日	平成10年4月1日	●風間浦村総合福祉センターげんきかん業務開始
	5月8日	5月8日	5月8日	●風間浦村総合福祉センターげんきかん及び風間浦診療所合同落成記念式典
	9月16日	9月16日	9月16日	●台風5号が猛威を振るい、易国間川及び目滝川が警戒水位を越え、易国間地区380世帯に避難勧告命令。易国間橋、小易国間橋の橋脚が沈下、通行止めに。
	平成11年4月15日	平成11年4月15日	平成11年4月15日	●「大間原子力発電所との共存共栄に係る協定書及び付帯覚書」に調印
一九九九	7月26日	7月26日	7月26日	●下風呂地区ふるさと農道竣工式及び開通式
二〇〇〇	平成12年3月24日	平成12年3月24日	平成12年3月24日	●易国間橋・小易国間橋開通
	25日	25日	25日	●交通死亡事故「〇」の日継続2千日達成
二〇〇一	平成13年3月17日	平成13年3月17日	平成13年3月17日	●桑畑小学校閉校式
二〇〇二	平成14年2月10日	平成14年2月10日	平成14年2月10日	●同志社中学校・風間浦中学校交流10周年記念訪問交流会
	12月1日	12月1日	12月1日	●風間浦村桑畑温泉「湯ん湯ん」オープン
二〇〇三	平成15年3月7日	平成15年3月7日	平成15年3月7日	●交通死亡事故「〇」の日継続3千日達成
	5月1日	5月1日	5月1日	●下風呂漁港沖防波堤、東防波堤高波被害
二〇〇四	平成16年3月19日	平成16年3月19日	平成16年3月19日	●桑畑地区落石事故(重さ推定約170トンの岩石が国道へ崩落)
二〇〇五	平成17年4月19日	平成17年4月19日	平成17年4月19日	●防災無線戸別受信機設置完了(村内全戸)
	〃	〃	〃	●鉄道アーチ橋「メモリアルロード」整備事業渡り初め式
	6月30日	6月30日	6月30日	●国道279号落石の恐れにより易国間・桑畑間が21時間通行止め
二〇〇六	平成18年1月25・26日	平成18年1月25・26日	平成18年1月25・26日	●下風呂温泉開湯550年「遊めぐり」事業結団式
	9月6日	9月6日	9月6日	●交通死亡事故「〇」の日継続4千日達成
	6月3日	6月3日	6月3日	●第15回同志社大学留学生との交流
	7月21日	7月21日	7月21日	●風間浦保育所開所式
二〇〇八	平成20年6月2日	平成20年6月2日	平成20年6月2日	●風間浦保育所・風間浦村民野球場ナイター照明設備落成式
	8月28日	8月28日	8月28日	●「学校法人同志社・風間浦村交流事業15周年記念式典」開催
二〇〇九	平成21年11月3日	平成21年11月3日	平成21年11月3日	●低気圧による高潮の影響で下風呂地区の非住宅2棟半壊
	8月30日	8月30日	8月30日	●交通死亡事故「〇」の日継続5千日達成
二〇一〇	平成22年2月20日	平成22年2月20日	平成22年2月20日	●テレビ共同受信施設が完成(地デジ化)
				●下風呂温泉郷「ゆかい村海鮮まつり」開催
				●村制施行120周年記念式典
				●第1回ゆかい村風間浦鮫鯨まつり





風間浦村の歴史			
(西暦)	(年号)	(事柄)	
二〇一〇	平成22年2月28日	●南米チリ沖地震により津波警報が発令	
二〇一一	平成23年2月8～11日	●村内全域1千世帯、2千400人に避難指示を発令	
	平成23年2月8～11日	●第20回同志社大学留学生との交流	
	3月11～14日	●交通死亡事故「〇」の日継続6千日達成	
	27日	●東北地方太平洋沖地震により青森県太平洋沿岸に大津波警報発令	
		●村内全域1千45世帯・2千460人に避難勧告発令	
		●村内4カ所に避難所開設し、最大653人が避難	
		●青森県全域で長期に渡り停電や国道が通行止め	
		●交通死亡事故「〇」の日継続17年	
二〇一二	平成24年2月1～2日	●第20回風間浦中学校同志社交流	
	27～30日	●大雪によりむつ市・横浜町の一部国道が通行止め	
	3月14日	●村内小中学校が臨時休校	
		●三陸沖発生の地震により青森県太平洋沿岸に津波注意報発令	
		●村内全域1千30世帯・2千380人に避難勧告発令	
	9月24日	●交通死亡事故「〇」の日継続18年	
二〇一三	10月13日	●学校法人同志社・風間浦村交流20周年記念式典同志社フェアin風間浦	
	11月2日	●風間浦村商工会創立50周年記念式典	
	12月7日	●三陸沖で発生した地震により青森県太平洋沿岸に津波注意報発令	
二〇一四	平成25年4月15日	●継続6千778日で交通死亡事故ゼロの日がストップ	
	5月3日	●蛇浦海岸に産地直売所「ふのりちゃん」オープン	
	平成26年4月1日	●風間浦保育所指定管理	
	6月15日	●新島襄海外渡航150周年記念事業	
二〇一五	8月	●風間浦小学校建設工事着工	
	9月5日	●風間浦鮫鯨が地域団体商標登録	
	平成27年7月13日	●青森公立大学と連携協定締結	
	10月31日	●蛇浦小学校閉校式	
	11月14日	●易国間小学校閉校式	
二〇一六	12月15日	●下風呂小学校閉校式	
	平成28年2月29日	●風間浦村まち・ひと・しごと創生総合戦略策定	
	4月	●村内の街路灯LED化	
	4月7日	●風間浦小学校ICT教育に関連する機器などの整備を開始	
	6月23日	●風間浦小学校・多目的グラウンド落成式	
	8月17日	●台風7号による土砂災害2件	
	9月9日	●下北ジオパーク認定	
二〇一七	平成29年7月9日	●風間浦中学校創立30周年記念セレモニー	
	8月1日	●福島県沖地震により津波注意報発令	
	10月23日	●村内全域955世帯・2千62人に避難勧告発令	
	11月22日	●ゆかい村観光ウ二園モニターツアー開催	
	10月16日	●災害時における応急対策業務に関する協定締結	
	10月	●広報かざまうら50号達成	
	10月16日	●第25回同志社創立者新島襄先生寄港の地碑 碑前祭	
二〇一八	平成30年4月	●風間浦村マスコットキャラクター「あんきもん」誕生	
	令和2年1月31日	●児童・生徒へiPadを配布し利用開始	
二〇二〇	令和2年1月31日	●村のシンボル花・鳥・木に加え、村の魚「あんこう」が制定される	
	3月	●新型コロナウイルス感染拡大のため全国一斉臨時休校	
	11月30日	●下風呂温泉「大湯」新湯閉館	
	12月1日	●下風呂温泉「海峽の湯」開業	
二〇二二	令和3年1月4日	●新漁協「風間浦漁協」が発足する	
	4月	●下風呂温泉「海峽の湯」開業から1ヶ月で1万人突破	
	8月9～10日	●新型コロナウイルスワクチン一回目接種開始	
		●台風9号による豪雨災害(土砂崩れ発生)	
		●下北・上北地方を中心に雨が降り出す	
		●風間浦村全地区に避難指示発令・避難所開設	
		●むつ市小赤川橋崩落・道路冠水と土砂崩れが発生	
		●下風呂地区を中心に断水・停電となる	
		●下風呂地区で621名・桑畑地区で100名が孤立	
		●青森駐屯地陸上自衛隊第5普通科連隊活動開始(物資の輸送・側溝の汚泥除去)	
		●桑畑地区の避難指示解除	
		●下風呂地区の一部で電気が復旧	
		●国道の桑畑―下風呂地区間で片側のみ開通	
		●全地区で電気が復旧	
		●赤川に仮橋「しもきた国土交通三日橋」が開通	
		●青森駐屯地陸上自衛隊第5普通科連隊任務完了	
		●仮橋・桑畑―下風呂地区間で時間を限定し対象車両の通行開始	
		●下風呂浄水場の仮復旧完了	
		●下風呂地区で水道水の飲用可能へ	
		●下風呂地区の避難指示解除・避難所閉所	
		●下北地域観光再開セレモニーが行われる	
二〇二三	令和4年3月23日	●風間浦村防災行政無線デジタル化整備	
	10月16日	●下風呂温泉海峽の湯10万人達成	
	10月30日	●学校法人同志社・風間浦村交流事業30周年式典	
	令和5年3月16日	●よみがえる「下風呂小唄(しもふるこうた)」―下風呂温泉郷の今―が第5回日本国際観光映像祭で国内グランプリ賞を受賞	
二〇二四	8月5～6日	●布海苔採り体験ツアー12年ぶりの開催	
	8月30～9月1日	●ゼロカーボンシティ宣言	
	10月3日	●ゆかい村海鮮どんぶり祭り4年ぶりの通常開催	
	11月15日	●令和6年能登半島地震で被災した富山県射水市へ職員を派遣	
		●交通死亡事故ゼロ記録3千600日間を達成	
		●役場庁舎等整備事業造成工事請負契約締結	
		●風間浦&同志社夏期学校を初めて開催	
		●第14回日本ジオパーク全国大会下北大大会	
		●役場庁舎本體工事請負契約締結・消防庁舎本體工事請負契約締結	
		●風間浦村制施行135周年記念式典	





水上 勉 氏
1919年生まれ
2004年死去

福井県生まれの作家、水上勉氏。代表作の一つ、社会派推理小説「飢餓海峡」は、実際

同じ日に起きた洞爺丸事故と北海道の岩内大火をヒントに、時代を敗戦直後に置き換えて着想され、小説の前半は下北半島が舞台となっています。推理作家から社会派の作家へと移行する時期の作品で、何度も映画やドラマ、舞台化しています。

小説を執筆するために、何度も風間浦村を訪れていて、風間浦村のことを「人間の荒寥（こうりょう）を表現するにもっとも適した土地」と言っています。小説の他にも、紀行



©(財)日本近代文学館



1961年『雁の寺』で第45回直木賞を受賞



掲載された「わが山河巡禮 風間浦の女」

文「わが山河巡禮 風間浦の女（文庫ではわが山河巡礼下北風間浦）もあり、その中で「飢餓海峡」を書いた後、風間浦村を三度訪れていることを記しています。物語の舞台を歩き、その感想を書くという新聞社の企画で、氏は下北半島を選んでいきます。

水上作品には、風間浦のような村や地域を舞台にした作品が多いのですが、そこに暮らす人々に対しては、温かく優しい目で見つめています。氏は、「ここ（風間浦）が好きである。理由は、とりわけここが日本の淋しさを代表しているからだ」と言っています。

井上 靖 氏
1907年生まれ
1991年死去

作家・井上靖氏は、私小説、心境小説が主流だった敗戦後の日本文学に物語性を回復させ、昭和文学の方向性を大きく変えた戦後期を代表する作家のひとりです。

氏の作品の中でも名作の一つと言われ、風間浦村、下風呂温泉郷が世に知られるきっかけとなった長編小説「海峡」。野鳥研究に心奪われた医師とその妻、雑誌編集長とその部下等が織りなす物語です。作品の終始にわたり、渡り鳥「アカエリヒレアシシギ」が登場し、その野鳥を追い求め、物語の舞台は東京から青森県下北半島に移ります。下北半島を知人に紹



©(財)日本近代文学館



井上靖文学碑の「除幕式」での井上 靖 氏



文学碑に刻まれた『アカエリヒレアシシギ』の原稿（風間浦村所蔵）



下風呂温泉「海峡の湯」 井上靖ゆかりの客室展示

介してもらった氏は、昭和三十三年に下風呂温泉を訪れ、津軽海峡を見渡せる「長谷旅館」の一室に二晩宿泊し、この小説の最終章を執筆されました。平成元年、風間浦村政施行百周年の記念事業で、井上靖文学碑を海峡いさりび公園の中に建設することになり、碑文を氏に依頼。三十一年ぶりに来村され、執筆した当時のことを懐かしんでいました。



1950年『闘牛』で第22回芥川賞を受賞



開拓の祖
佐賀清太郎
1864年生まれ

佐賀清太郎は、一八六四年十二月二十九日、下風呂温泉郷に誕生しました。風間浦村の

布海苔養殖法の開拓者です。この養殖法は、明治初年に清太郎の祖父、根津屋こと佐賀平之丞によって考案されました。持ち船の冬囲いの際、引き起し整理した岩石に布海苔が附着したのを見て、投石による布海苔養殖法を考案、目名新田原野32ヘクタールを開拓しました。しかし、厳しい自然と当時の技術の未熟さから不成功に終わりました。そして、佐賀清太郎がその意志を継承し、大金を投じて目名新田の再開拓に着手、成功させました。彼の開拓した方法は、寒冷な気候にも耐えるたくましい海苔の育成を可能にし、地



域の経済発展に寄与しました。それは、村内だけでなく県内外でも採用され、風間浦村のみならず、全国の海苔養殖業界に大きな影響を与えました。風間浦村には功績を称えるために、記念碑が建てられ、彼の名前は地域の歴史に刻まれています。この開拓した布海苔養殖法は、今でも多くの養殖業者に利用されており、その技術は現代にも続いています。

また、記念碑のある草島には、寒風に耐えて成長する二本松があり、この光景は、見る人に厳しい北国の冬に耐える力強さを感じさせます。

このように、佐賀清太郎は風間浦村の海苔養殖業界において重要な役割を果たし、その功績は今も語り継がれています。



漁協の様子



地域の活性化に繋がる 風間浦村の漁業とは

風間浦村の漁業は、地域の主要産業です。地域ブランドの「風間浦鮫鯨」の知名度は上がっていますが、近年はイカの漁獲量の減少や燃料費の高騰などが課題となっています。

一方、漁業協同組合や自治体が協力して、ウニの適正管理・養殖事業を展開し、持続可能な漁業を目指しています。また、昆布の繁茂も注目されており、地域経済の活性化に寄与しています。



PICK UP

第14回日本ジオパーク 全国大会 下北大会

第14回日本ジオパーク全国大会下北大会は、二〇二四年八月三十日から九月一日にむつ市で開催されました。この大会は「ジオパークでつながる海大地未来」をテーマに、ジオサイトを通じて全国、さらには世界へとつながり、この活動や理念を次世代に引き継ぐことを目指したものです。大会では、しもきた克雪ドームを中心に、パネルディスカッション、交流会、エクスカーショントアーなど様々なプログラムが行われ、市町村長等のセッションや基調講演、活動の発展と向上を目指すための意見交換が行われました。

また、多くの参加者が集まり、地元の名物や観光地も紹介され、ジオパークの魅力がさらに広がり、未来へのつながりが強化されました。



KAZA ∞ MIRAI

風間浦の自然

「下北ジオパーク」



ジオパークとは、地球・大地を意味する「ジオ」と「パーク」(公園)を組み合わせた言葉で、地質や景観が大切に守られ、暮らしと、自然と大地のつながりを、教育や経済活動に活用している地域のことです。下北ジオパークは、2016年に日本ジオパークに認定されました。その特徴は、異なる3つの海に囲まれる半島で育まれてきた生態系や暮らし、海底火山、火山、堆積平野、非火山性山地からなる多様性のある地質群です。その中で「風間浦ジオサイト」の特徴は、燧岳の麓にあり、背後に崖が迫り、前面には津軽海峡があり、低地が少ないながら海岸線の平地に住宅や温泉街があります。ですが崖の上には、かつて海底だった段丘が波浪によって平坦な土地となり、農地や学校、公園が整備されており海成段丘の恩恵を受けているエリアです。



蛇浦段丘

風間浦ジオサイト(ジオサイト・文化サイト)

風間浦村易国間地区から大間町かけて広がる蛇浦段丘は、津軽海峡沿いの階段状の地形で、その成り立ちは約1350万年前から300万年前にかけての地質活動によるものです。硬質頁岩層(大間層)と安山岩質凝灰角礫岩類(易国間層)から構成され、気候変動と大地の隆起によって形成されました。この地域は、自然の浸食作用によって作られた美しい景観を誇り、農業や漁業において重要な役割を果たしています。また、縄文時代の遺跡も見つかり、古代から人々の生活と深く結びついています。

蛇浦段丘には、風間浦小学校の「学習田」が設けられ、児童たちが稲作体験学習を通じて地域の農業に触れる機会を提供しています。このように、段丘面は貴重な平地として産業や教育などに広く活用され、自然と人間の共生を象徴する地域であります。

下風呂

風間浦ジオサイト(文化サイト)

下風呂は、海成段丘という階段状の地形が見られ、過去の気候変動や大地の隆起によって形成されたもので、津軽海峡を望める温泉郷です。この「下風呂」という地名はアイヌ語の「シュマ(臭い)・フラ(岩)」で、温泉の硫黄を含む泉質が由来とされています。

硫黄の香りと潮の香りが漂う下風呂温泉郷は、大地の恵みを感じられる場所です。室町時代から湯治場として知られており、大自然と共存する温泉街として、多くの人々に愛されています。



立石大明神

風間浦ジオサイト(文化サイト)

風間浦村には、立石大明神と呼ばれる巨岩があります。この巨岩は、燧岳火山由来の高さ約25m、幅約8mの溶結凝灰岩です。周囲の自然景観とも調和しており、訪れる人々に雄大な自然の美しさを堪能させます。

地元の漁師たちには「立石様」として古くから海の守り神として信仰されており、毎年5月8日には参拝が行われ、酒や海の幸を捧げ、豊漁と海上安全を祈願されています。立石大明神は、風間浦村桑畑地区の山中に位置し、登山口から徒歩で約40分です。





KAZA ∞ MIRAI

風間浦村長と 未来を語る

「子どもたちが考える
未来とは」

——（風間浦小学校6年生※以下同）
新しい役場が完成したら、今の役場は別の施設に活用する予定ですか？

（村長※以下同）今、野球場の北側の方に新しい役場と消防庁舎を建設しています。現在の役場ができたのは昭和11年ということなので、もう90年近い年月が経っています。老朽化で屋根が飛びそうだからという状況です。で、新しい役場に引っ越ししたら、そこは危ないので取り壊します。取り壊した後は、易国間地区の自治会や、皆さんのご意見を聞きながら、活用方法を考えていきます。

——要望なのですが、蛇浦にも運動ができる公園などを設置してほしいです。

蛇浦地区には、私の家の裏にちょっとした広場があるんですけど、昔はそこにバスケットのボードがあって、子供たちがいっぱいいた頃はバスケットをやって遊んでいました。今は子供たちが少なくなったので、そこは利用していません。あと蛇浦地区で遊べる所は、昔の蛇浦小学校のグラウンド。半分は電源開発の宿舎を建てていますけども、残っているのもそこは整備すれば使えるのかなと思っていますし、あと蛇浦小学校の講堂も昔は遊べたので、活用方法を考えていければと思います。

やっています。今、桑畑の公民館のところの川の橋の架け替え工事が進められています。だいたい二年ぐらいかけ曲がっている川をまっすぐにし、災害を防ぐような対策工事を進めています。県の方の災害復旧の工事等は全て終わっています。

——高齢者から子供まで、安全に利用できる広場が欲しいです。新しい公園を作ることが難しい場合は、旧小学校を解放してもらうことは可能ですか。

今、易国間小学校の跡地のグラウンドで、大人の方や高齢者と一緒に、グラウンド・ゴルフというスポーツを楽しんでいます。スポーツ協会というも



います。今は自治会の方が管理しているので、自治会とも相談しながら、活用をしていければと思っています。

——土砂崩れの復興はもうすべて終わったんですか。

三年前に下風呂、桑畑地区で大きな災害があって、一ヶ月ぐらいも緊急車両しか通れない状況でありましたが、現在は、災害で壊れたところや危ないところは、ほとんど工事が終わって今まで通りの通行ができるようになっていきます。ただ、それでも危険な箇所がまだたくさんあるので、今はいろんな川とか沢とかで、災害を未然に防ぐという災害防除という工事を県の方で



のがあって、その中の一団体としてグラウンド・ゴルフの協会があり、協会の方で高齢者の方や興味のある方を募集して色々やっているんです。そういう施設をもうちょっと整備しながら、軽スポーツの普及を図っていかなければならないのかなと思っています。今おっしゃった通り、例えば下風呂の昔の小学校の体育館とかはまだまだ使える施設なので、そういうのもどんどん活用していくようにしていければと思っています。

——風間浦村内で自転車を安全に乘れる場所がないので、自転車専用レーンを用意してほしいです。

私が子供の頃は、家の裏の蛇浦公民館の通りを通称『自転車道路』っていうことで、自転車を優先的に使う道路として整備しました。今は普通に車も走っていますけれども、例えば、農道の方に全部自転車専用道路を作るというのはなかなか難しいので、交通量の少ないところを安全な形で乗れるように、区間を区切って確保することは可能だと思います。どこかに自転車だけの道路、サイクリングロードとか作るというのはお金もかかるし、なかなかそういうスペースもないので、農道とか交通量の少ないところを指定してや



ることはできると思います。皆さんのご意見も聞いたので、作ればいいのかなと思っています。あと下北全体では、自転車の観光客とかサイクリングを好きな人たちのために貸し自転車というのを用意して、例えば、むつから下風呂まで来たら下風呂でそれを置いていってもいい、という仕組みも作ってやっていますが大人だけです。子供たちが安全に国道を通るといのはなかなか難しいので、易国間の交通量の少ない農道を活用するというのは可能だと思いますので、そういう要望にも応えられるように、いろいろ検討してみたいと思います。

——水産業が有名な風間浦をもっと宣伝するために、飲食店とタイアップなど対応するのはどうですか？

今のお話にあった中で、風間浦鮫鯺って分かりますか？ 風間浦鮫鯺は全国でも珍しい漁法で、新鮮さが売りです。なかなか全国的にも生きたまま水揚げされる鮫鯺はほとんどないので、その新鮮さを生かして、下風呂温泉では鮫鯺の刺し身とか鍋とかを提供しています。今、村が目指しているところの中で、水産業と観光の融合ということで、今おっしゃったとおり旅館、食堂とタイアップして、一月から三月の中頃まで『風間浦鮫鯺フェア』を旅館、ホテルで風間浦鮫鯺のフルコースや料理を提供できるようにしています。あと三月には、『風間浦鮫鯺感謝祭』と称して、鮫鯺の握りや鮫鯺鍋を皆さんに振る舞ったり、いろいろな観光イベントを行っています。皆さんが言ったように鮫鯺だけでなく、いろいろな食材がいっぱいあり、四季折々、例えば夏であればウニ、イカ。アンコウの前はアワビ、タコなど、たくさんあるので水産業と観光業、食堂、旅館と連携して、そのようなPRをこれからももっと続け、発展拡大していければと思っています。

——村長さんが思っている風間浦村の誇りってなんですか？

豊かな自然、まずは自然です。海もあって山もあって川もあってという豊かな自然がまず一つと、そこに住む人たちがとても思いやりがあって、優しい人が多いと思っています。

——村長さん自身だけで風間浦の未来を考えたことはありませんか？

高校を卒業してすぐ役場の職員になり、いろいろな部署に行きました。その中でいろんなことがありましたけども、風間浦の未来を明るい持続可能なものにしようということで、職員を辞めて村長に立候補して、当選させてい



ただきました。でも人口が減って小学校を複数統合しても複式学級になっているという、これは全国的な問題ですけども、人口が減ってもここに住む人たちが幸せになれるような村にしたいと思っています。

——下風呂は温泉が有名ですが、空いている土地にまた温泉を作るという考えはありますか？

下風呂に大きく源泉が四つあります。昔の大湯と新湯、そして今ある海峡の湯のすぐそばに浜湯という海岸線から湧いているところと、もうちょっと離れたさつき荘とかがあるところにもまた温泉があるんですけれども、どの温泉もギリギリの湧出量の温泉なので。現状でも旅館と海峡の湯でギリギリなので、新しい施設はなかなか難しいのかなと思います。

あと空き家対策は、これからスピードを上げてやっていかなければならないと思います。環境上も良くないし、危ないし、観光地として格好悪いんですよね。そういうのは、対策を講じていかなければならないと思っておりま



険な家屋の解体を今進めています。解体した後は、個人の土地もあるんですけども、活用できるようにしていければなと思っています。

——風間浦は水産業が有名ですが、林業がもっと有名になってほしいと思っています。なぜなら風間浦にはいろんな種類の木があり、森林がとても多いので、林業をもっと有名にしたいと思っています。

今、林業が見直しされています。地球温暖化対策で、木は炭素を吸収するというところで一生懸命、脱炭素、グリーンカーボンを進めています。村でもそれは重要なことなので進めていきたいと思っています。一番炭素を吸収するのは、きちんと手をかけて整備している森林だそうです。その木の中でも、何十年もたった木はあまり炭素

を吸収しないということです。15年、20年ぐらいの木が一番吸収するそうなので、計画的に木を植えて伐採して利用することが理想ということで、国の方も補助金を出し整備をしています。

あと水産業ですが、何年か前までは、海藻が生えない磯焼けという現象がすごくて、今はウニを適正に管理して、蛇浦の大間境の方から順番に昆布とか海藻がかなり生えてきています。海藻が生えてくるとウニにも身が入るし、鮑も餌があるので大きくなるし、海藻もブルーカーボンと言って炭素を吸収するので、非常に大事になってきます。林業、水産業、そして観光業を結びつけて、この村が活性化して、皆さんが元気になっていけばいいのになって思っています。

——今日は村長さんと一緒に風間浦村の未来について話し合ってみて、今からより良くするための方法などを考え、疑問に思ったことを実際に話し合えて、とても楽しかったです。今日はお忙しい中、ありがとうございました。

こちらこそありがとうございました。いろいろなことに挑戦して、いろんな疑問を持って、中学校に行っても一生懸命、勉強もスポーツも頑張ってください。





KAZA  MIRAI

風間浦の教育

「未来を担う子どもたち」



風間浦保育所の活動



風間浦保育所

平成18年、下風呂・易国間・蛇浦の3保育所が統合され、平成26年には保育や幼児教育のニーズに併せて、より一層の効率的な保育を実施するため、事業の民営化を進めることを村が提案し、「社会福祉法人みちのく福祉会」が指定管理者として、木のぬくもりが感じられる施設により保育業務を開始しました。

運動会、夏まつり、遠足、クリスマス会、もちつきなど四季折々の行事を開催し、一年を通じて子どもたちの元気な声が響いています。



風間浦小学校

平成28年、下風呂・易国間・蛇浦の各小学校が統合して設立された小学校で、村内全域を通学区域としています。発達段階に応じて、授業にタブレットを積極的に取り入れ、ICTを活用した授業改善に取り組んでいます。体験活動（ふるさと学習）として、村の段丘面にある水田の一部に「学習田」が設けられ、稲作体験学習が行われています。ここでは、ふるさとを愛する心、農作業の大変さなどを学んでいます。また校舎は、災害時に緊急避難場所として利用できる機能を備えています。



風間浦中学校

平成元年、下風呂中学校を統合。風間浦村易国間地区にあり、村内全域を通学区域としています。総合的な学習では、風間浦村と深い関わりがある「新島裏と函館」について学習し、風間浦村との歴史的つながりなどを学び、函館では、進路選択に生かすことを目的に「職場体験学習」を実施しています。また、新島裏が設立した同志社との交流を深め、京都市の同志社中学校、同志社大学などを訪問。交流会や特別授業、合同授業などが行われています。



京都に同志社大学の前身である同志社英学校を創立した新島襄は、天保十四年（一八四三年）、江戸の上州安中藩江戸屋敷で、安中藩士・新島民治の子として生まれました。ある日、アメリカ人宣教師が訳した漢訳聖書に出会い、アメリカに憧れ、当時は禁止されていた海外渡航を思い立ち、船に乗って開港地の函館へと向かいました。途中、荒天を避けて下風呂港に寄港し、三日間滞在しています。

新島襄と同志社大学



新島 襄

PICK UP

学校法人同志社 (本部・京都市)との交流

平成四年に下風呂のいさりび公園に寄港記念碑が建立されました。これをきっかけに、同志社との交流が始まり、平成五年には、同志社大学への二学年生徒一日体験入学事業が実施され、交流は現在まで続いています。

風間浦中学校二年生の、同志社中学校、同志社大学訪問、また同志社大学の学生や留学生を招いての交流会など、年々交流を深めています。



風間浦小学校の活動



風間浦中学校の活動



議 会

風間浦村議会は、村民から選ばれた定数8名による議員で構成されています。議会では、村民に代わり、条例制定・改廃・予算及び決算認定などの議決の他、請願・陳情の審査などについて、村長から提案された議案などの審査を通じ、村民の生活がより良いものになるよう議論し、決定しています。

本会議は、議員全員で予算案や議案を審議し、議会の最終的な意思を決定する重要な会議で、定期的に行われる定例会（3月・6月・9月・12月の年4回）と、必要に応じて開かれる臨時会があります。

議会で話し合われた内容は「かざまうら議会だより」に載せて発行されています。

KAZA MIRAI 風間浦の 議会と行政 「村のよりよい未来のために」

議会組織図



村議会議員



行政

風間浦村の行政組織は現在、総務課・企画政策課・村民生活課・産業建設課・税務国保課の5つの課と出納室によって構成され、住民サービスに迅速に対応しています。

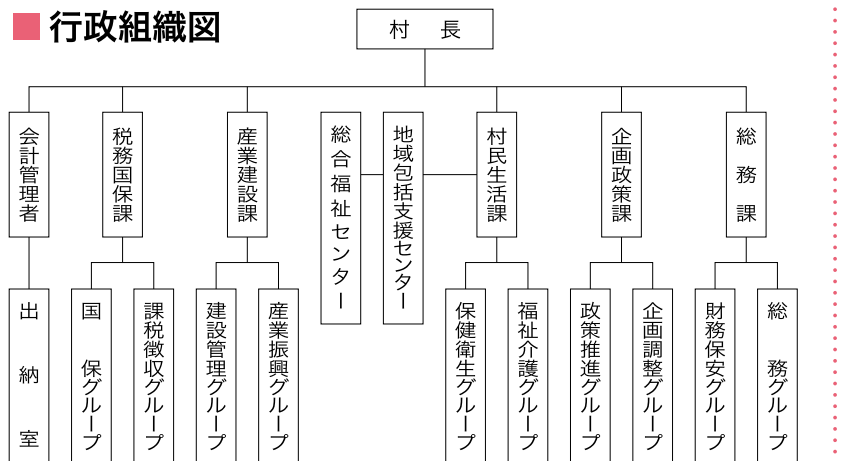
行政委員会としては、教育委員会事務局教育課・監査委員会事務局・選挙管理委員会事務局・農業委員会事務局が設置されています。

下北医療センターの管理運営などは、一部事務組合下北医療センターが行い、消防に関する事務や知的障害児施設に関する事務、ごみ処理及びし尿処理に関する事務などは、下北地域広域行政事務組合が運営しています。

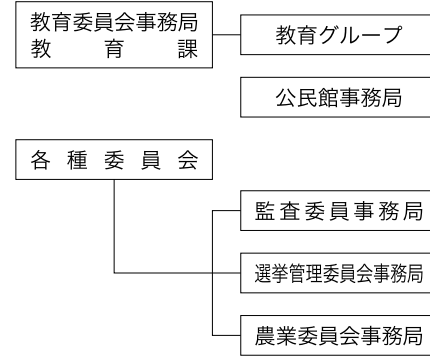
また、行政の内容や重要なお知らせ、旬の話題などは「広報かざまうら」に掲載し、毎月すべての世帯に配布しています。



行政組織図



行政委員会



風間浦診療所

医 療

下北地域の医療は、一市一町三村で「一部事務組合下北医療センター」を構成し、医療体制を構築しており、中核病院として高度な医療を提供する「むつ総合病院」を中心に、3病院と9診療所で診療を行っています。風間浦村では、「国民健康保険風間浦診療所」が地区唯一の医療機関として初期医療を提供しています。また、隣接する大間町の「国民健康保険大間病院」や、交通のアクセスが良い函館市の医療機関も利用されています。

医療の他に、健康増進のため、運動不足解消のウォーキング教室やヨガ教室等の開催、グラウンド・ゴルフなど軽スポーツの普及を図り、健康寿命の延伸として取り組んでいます。

KAZA MIRAI 風間浦の 医療と福祉 「健康な未来へ」



ノルディックウォーキングの様子



風間浦村総合福祉センター「げんきかん」

福 祉

高齢化比率が年々高くなっている風間浦村の福祉サービスは、住民の健康と生活の質を向上させるために様々な取り組みが行われています。「風間浦村総合福祉センターげんきかん」ではサービスを、げんきかん内「地域包括支援センター」では、地域住民や高齢者の身近な窓口となり、医療、福祉、介護など様々な支援を提供しています。

また村では、フレイル（介護が必要になる一歩手前の状態）の予防に、運動や栄養、社会参加を取り入れた「風間浦いきいき教室」などを開催しています。また、県内初の赤十字地域防災ボランティア養成研修を実施。これらの福祉サービスは、地域全体の福祉向上に寄与しています。



県内初開催『赤十字地域防災ボランティア養成研修』に参加



『第14回老人クラブ連合会ベタング大会』

KAZA ∞ MIRAI

風間浦村資料編 2024

村民憲章

〔平成元年3月25日制定〕

わたくしたちは、緑の山、豊かな海、きれいな川に恵まれ、歴史と文化を大切に
する風間浦村の村民です。
わたくしたちは、いつまでも郷土風間浦村を愛し、幸せを願い、健康で明るく住
みよい村をつくるために、この憲章を定めます。

- 一、わたくしたちは、きまりを守り、親切で明るい村をつくります。
- 一、わたくしたちは、仕事に喜びをもち、豊かな村をつくります。
- 一、わたくしたちは、青少年に希望を、老人に生きがいを、
そして心のあたたかい村をつくります。
- 一、わたくしたちは、自然を愛し、花と緑の美しい村をつくります。
- 一、わたくしたちは、常に知識を求め、スポーツに親しみ、楽しい村をつくります。

KAZA ∞ MIRAI

風間浦の プロフィール

村の シンボル



花
〔はまなす〕

- 潮風に強く、風間浦村の風
土にあっている。
- 昔は、風間浦村の海岸沿い
に、多く群生していた。



鳥
〔かもめ〕

- 村内どこにでも見られ通称
「ごんべ」としてよく知られ
ている。
- 漁業を象徴する鳥である。



木
〔ひば〕

- 古くから風間浦の産業基盤
として村民の多くがその恩
恵をうけた。
- 風間浦の山々に多く植生し、
村民のだれにでも親しまれ
ている。



魚
〔あんこう〕

- 地域団体商標にも登録され
村を代表する魚である。
- 「あんこう」主体の行事もあ
り、村民に広く親しまれて
いる。

風間浦村民歌

『おゝ我らが郷よ』

津軽海峡 あげぼのに
はばたく白き うみどりよ
父祖の拓けし この大地
天与のめぐみ ゆたかなる
おゝ我が郷よ 風間浦

熱き情は 燃えたぎる
いで湯となりて 地に湧かん
理想を高く かかげつつ
共にはげみて 築きゆく
おゝ我が郷よ 風間浦

せんこ じゅうりん
千古の樹林 枝ゆらす
波のうねりの たゆまざる
風の息吹の たのもしく
集いてなごむ もろびとに
おゝ永遠に幸あれ 風間浦

風間浦音頭

サアー南部下北 風間浦

人のこころの ぬくもりが
とけて流れる 湯けむりに
心安まる 花が咲く
いでゆ下風呂 情の湯
ソーレソレソレ 情の湯

サアー南部下北 風間浦

高松山の いただきに
流れる雲の 影うつし
緑したたる 溪流の
易国間川の 水清か
ソーレソレソレ 水清か

サアー南部下北 風間浦

蛇浦海岸草島や
一本松よ さびしかろ
誰か植えてよもう一本
添えりゃ似合いの夫婦松
ソーレソレソレ 夫婦松

作詞／横山あきら
作曲／板谷 隆
編曲／清水美知男

サアー南部下北 風間浦

つかずはなれず 二見岩
愛のさざ波 すそ濡らす
汐騒やさし さゝやけば
沖の漁火 恋あかり
ソーレソレソレ 恋あかり

サアー南部下北 風間浦

鎮座まします 立石の
衣見事に あやにしき
りんご茸に ひば林
山は桑畑 唄が出る
ソーレソレソレ 唄が出る

サアー南部下北 風間浦

津軽海峡 岸洗う
波のしぶきの 折戸浜
かもめ群れとぶ いさり舟
ゆれるハマナス 夢さそう
ソーレソレソレ 夢さそう

キャラクター

〔平成29年11月9日制定〕

風間浦村マスコットキャラクター
『あんきもん』



名 前／あんきもん
出身地／津軽海峡風間浦沖
性 格／マイペースで温厚、
くいしんぼう
趣 味／温泉めぐり
好きなもの／風間浦村の海の幸
(特にイカ)
嫌いなもの／刺し網



人口 *population*

●人口の推移

(単位：人、世帯)

区 分	世 帯 数	人 口			一世帯 平均人員	備 考 (10月1日現在)
		総 数	男	女		
昭 和 25 年	805	4,775	2,358	2,417	5.9	国 勢 調 査
昭 和 30 年	862	4,974	2,469	2,505	5.8	国 勢 調 査
昭 和 35 年	856	4,945	2,422	2,523	5.8	国 勢 調 査
昭 和 40 年	890	4,466	2,215	2,251	5.0	国 勢 調 査
昭 和 45 年	964	4,243	2,147	2,096	4.4	国 勢 調 査
昭 和 50 年	978	4,057	2,053	2,004	4.1	国 勢 調 査
昭 和 55 年	999	3,917	1,955	1,962	3.9	国 勢 調 査
昭 和 60 年	1,012	3,712	1,855	1,857	3.7	国 勢 調 査
平 成 2 年	994	3,295	1,622	1,673	3.3	国 勢 調 査
平 成 7 年	954	3,012	1,470	1,542	3.2	国 勢 調 査
平 成 12 年	929	2,793	1,350	1,443	3.0	国 勢 調 査
平 成 17 年	931	2,603	1,270	1,333	2.8	国 勢 調 査
平 成 22 年	1,096	2,463	1,307	1,156	2.2	国 勢 調 査
平 成 27 年	823	1,976	981	995	2.4	国 勢 調 査
令 和 2 年	754	1,633	774	859	2.2	国 勢 調 査

資料：令和2年国勢調査

●地区別人口の推移

【下風呂地区】 (単位：人、世帯)

区 分	男	女	計	世帯数
平成25年	410	410	820	365
平成26年	387	394	781	356
平成27年	381	383	764	354
平成28年	366	370	736	346
平成29年	363	363	726	349
平成30年	347	354	701	346
令和元年	336	340	676	340
令和2年	324	333	657	337
令和3年	305	320	625	328
令和4年	297	314	611	316
令和5年	285	298	583	308
令和6年	273	295	568	301

【易国間地区】 (単位：人、世帯)

区 分	男	女	計	世帯数
平成25年	394	421	815	369
平成26年	369	397	766	352
平成27年	362	380	742	349
平成28年	359	377	736	345
平成29年	345	359	704	333
平成30年	339	353	692	330
令和元年	326	345	671	327
令和2年	309	336	645	322
令和3年	307	327	634	315
令和4年	298	313	611	310
令和5年	285	305	590	305
令和6年	278	302	580	300

【桑畑地区】 (単位：人、世帯)

区 分	男	女	計	世帯数
平成25年	63	66	129	47
平成26年	63	68	131	49
平成27年	62	65	127	47
平成28年	62	66	128	48
平成29年	60	60	120	50
平成30年	55	58	113	50
令和元年	51	58	109	52
令和2年	50	55	105	49
令和3年	48	52	100	49
令和4年	48	51	99	48
令和5年	46	50	96	47
令和6年	41	46	87	46

【蛇浦地区】 (単位：人、世帯)

区 分	男	女	計	世帯数
平成25年	266	261	527	224
平成26年	258	254	512	214
平成27年	255	248	503	217
平成28年	244	240	484	218
平成29年	230	235	465	215
平成30年	221	234	455	212
令和元年	215	228	443	207
令和2年	207	219	426	206
令和3年	200	213	413	200
令和4年	201	206	407	201
令和5年	190	195	385	197
令和6年	176	188	364	193

【風間浦村】 (単位：人、世帯)

区 分	男	女	計	世帯数
平成25年	1,133	1,158	2,291	1,005
平成26年	1,077	1,113	2,190	971
平成27年	1,060	1,076	2,136	967
平成28年	1,031	1,053	2,084	957
平成29年	998	1,017	2,015	947
平成30年	962	999	1,961	938
令和元年	928	971	1,899	926
令和2年	890	943	1,833	914
令和3年	860	912	1,772	892
令和4年	844	884	1,728	875
令和5年	819	860	1,679	862
令和6年	768	831	1,599	840

(資料：風間浦村役場)

自然 *nature*

●気象

(単位：人、世帯)

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間 平均
気 温(℃)	平 均	-0.6	0.6	6.2	9.6	12.8	17.5	22.5	25.8	22.5	15.2	9.0	2.5	12.0
	最 高 極 起 日	12.3 13	10.4 28	14.7 22	17.2 11	21.4 26	24.9 29	29.8 24	32.9 24	30.2 1	24.1 1	21.9 3	15.4 9	21.3 —
	最 低 極 起 日	-10.5 25	-5.7 15	-1.6 15	0.2 2	3.5 12	10.6 20	15.6 5	19.9 14	12 25	4.9 21	-2.9 25	-5.1 23	3.4 —
降水量(ミリ)	合 計	37	63	56	104	63	70	97	32	260	84	173	62	91.4
	日 量 最 大 起 日	24 14	13 20	19 27	29 7	27 6	26 24	43 15	19 13	75 15	27 20	42 18	17 26	29.8 —
降 水 日 数	日 量 ≥ 10mm	17	15	12	13	10	12	11	5	20	14	24	16	14.1
	日 量 ≥ 30mm	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	2	0	0.42
風 速(m/s)	平 均	4.4	4.0	3.8	5.0	3.7	3.2	3.6	3.1	2.3	3.4	4.5	4.5	3.8
	最大風速平均	13.1	13.8	13.0	13.4	10.4	12.0	14.6	8.7	9.3	12.4	15.4	13.0	12.4
	最 大 風 速 風 向 ・ 起 日	13.1 WSW23	13.8 SW28	13 WSW1	13.4 WSW16	10.4 SW22	12 SW17	14.6 SW6	8.7 WSW17	9.3 WSW18	12.4 WSW6	15.2 SW7	13 WSW17	12.4 —
最 多 風 向		W	W	WSW	WSW	SW	ENE	SW	E	E	W	W	W	W

(資料：風間浦村消防分署令和5年データ)

●土地利用状況

(単位：km)

区 分	総 面 積	田	畑	宅 地	山 林	原 野	雑 種 地	そ の 他
平成23年	69.60	0.20	1.78	0.67	65.15	0.95	0.36	0.49
平成24年	69.60	0.20	1.78	0.41	65.42	0.95	0.36	0.48
平成25年	69.60	0.20	1.77	0.41	65.42	0.96	0.36	0.48
平成26年	69.60	0.20	1.77	0.41	65.40	0.96	0.36	0.50
平成27年	69.55	0.20	1.77	0.41	65.35	0.96	0.36	0.50
平成28年	69.55	0.20	1.76	0.41	65.34	0.96	0.38	0.50
平成29年	69.55	0.20	1.74	0.42	65.32	0.96	0.38	0.53
平成30年	69.55	0.18	1.74	0.42	65.35	0.97	0.38	0.51
令和元年	69.55	0.18	1.73	0.42	65.35	0.98	0.38	0.51
令和2年	69.55	0.18	1.73	0.42	65.35	0.98	0.38	0.51
令和3年	69.55	0.18	1.73	0.42	65.35	0.98	0.38	0.51
令和4年	69.55	0.18	1.72	0.42	65.36	0.98	0.38	0.51
令和5年	69.46	0.17	1.72	0.42	65.27	0.99	0.38	0.51

(資料：固定資産概要調査)

●下北圏域の各市町村勢

人口年齢別割合(%)

区 分	面積(km)	世帯数(戸)	総人口(人)	人口密度 (人/km)	対平成27年 人口増減率 (%)	0～14才	15才～64才	65才以上
風 間 浦 村	69.55	754	1,633	23.5	△17.4	7.6	46.0	46.3
大 間 町	52.10	2,107	4,718	90.6	△9.7	10.5	53.5	36.0
東 通 村	295.27	2,559	5,956	20.2	△9.9	10.5	53.5	36.0
佐 井 村	135.04	824	1,788	13.2	△16.8	6.8	45.4	47.7
む つ 市	864.12	24,072	54,122	62.6	△7.5	10.7	55.0	34.3

資料：令和2年国勢調査

産業 *industry*

●産業別就業者数の推移

(単位：人、％)

	平成27年			令和2年			増減率
	総数	男	女	総数	男	女	
総数	955	561	394	829	482	347	△13.2
第1次産業	199	161	38	165	133	32	△17.1
農業	8	5	3	10	5	5	25.0
林業	11	9	2	7	7	0	△36.4
漁業	180	147	33	148	121	27	△17.8
第2次産業	208	157	51	156	120	36	△25.0
鉱業	0	0	0	0	0	0	0.0
建設業	126	116	10	100	90	10	△20.6
製造業	82	41	41	56	30	26	△31.7
第3次産業	547	242	305	503	227	276	△8.0
卸売・小売業・飲食店	89	36	53	79	39	40	△11.2
飲食店・宿泊業	95	25	70	68	12	56	△28.4
情報通信業	2	0	2	1	0	1	△50.0
金融・保険業	10	0	10	7	0	7	△30.0
不動産業	1	0	1	5	2	3	400.0
運輸通信業	24	23	1	19	18	1	△20.8
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	0	3	3	0	皆増
サービス業	110	57	53	110	55	55	0.0
医療・福祉	84	17	67	101	24	77	20.2
教育・学習支援業	30	10	20	15	8	7	△50.0
複合サービス業	22	13	9	20	10	10	△9.1
公務	80	61	19	75	56	19	△6.3
分類不能の産業	1	1	0	5	2	3	400.0

(資料：令和2年国勢調査)

漁業 *fishery*

●主要漁獲数量及び金額の推移

年	年間全魚種合計		あわび		うに		こんぶ		あんこう		するめいか	
	漁獲量(kg)	水揚げ(千円)	数量(kg)	金額(千円)	数量(kg)	金額(千円)	数量(kg)	金額(千円)	数量(kg)	金額(千円)	数量(kg)	金額(千円)
平成28年	649,450	407,869	2,417	12,090	55,362	45,594	37,956	9,982	41,041	48,577	229,913	116,713
平成29年	602,952	367,928	1,074	4,353	29,744	29,065	61,106	20,043	50,040	41,883	227,122	134,259
平成30年	606,177	333,295	467	3,304	40,677	33,759	95,225	23,287	73,034	45,153	194,767	109,907
令和元年	646,563	385,263	420	2,453	32,658	31,863	39,036	14,932	70,068	37,975	300,880	181,364
令和2年	535,900	323,480	452	2,182	18,736	15,652	39,509	15,048	138,839	84,694	107,523	66,848
令和3年	553,647	308,151	478	2,167	10,106	9,794	115,576	23,287	132,775	81,911	95,368	67,819
令和4年	533,416	363,232	390	2,305	8,176	8,638	101,808	22,352	115,642	76,593	161,248	118,249
令和5年	584,191	415,643	670	3,844	12,843	14,281	240,846	61,761	102,693	82,880	60,681	59,575

(資料：青森県海面漁業月別漁獲数量調査)

population 人口

●自然動態

(単位：人、％)

年次	出生			死亡			自然増減数	自然増減率
	総数	男	女	総数	男	女		
平成22年	10	4	6	40	18	22	△30	△1.3
平成23年	10	4	6	36	15	21	△26	△1.1
平成24年	13	5	8	46	24	22	△33	△1.4
平成25年	7	3	4	43	26	17	△36	△1.6
平成26年	7	7	0	49	23	26	△42	△1.9
平成27年	6	4	2	33	17	16	△27	△1.3
平成28年	6	3	3	38	16	22	△32	△1.5
平成29年	6	2	4	38	21	17	△32	△1.5
平成30年	7	2	5	41	27	14	△34	△1.8
令和元年	1	1	0	46	28	18	△45	△2.5
令和2年	7	4	3	49	32	17	△42	△2.4
令和3年	4	2	2	51	20	31	△47	△2.9
令和4年	3	2	1	41	22	19	△38	△2.4
令和5年	2	1	1	42	26	16	△40	△2.6

(資料：青森県の人口移動)

●社会動態

(単位：人、％)

年 次	転 入			転 出			社 会 増減数	社 会 増減率
	総 計			総 計				
	計	男	女	計	男	女		
平成22年	81	45	36	83	42	41	△ 2	△ 0.1
平成23年	59	34	25	91	50	41	△ 32	△ 1.4
平成24年	43	16	27	88	52	36	△ 45	△ 1.9
平成25年	41	25	16	86	43	43	△ 45	△ 1.9
平成26年	34	21	13	84	52	32	△ 50	△ 2.2
平成27年	44	26	18	60	27	33	△ 16	△ 0.7
平成28年	57	30	27	83	51	32	△ 26	△ 1.2
平成29年	31	19	12	69	37	32	△ 38	△ 2.0
平成30年	33	21	12	72	37	35	△ 39	△ 2.1
令和元年	33	17	16	50	22	28	△ 17	△ 0.9
令和 2 年	32	14	18	44	21	23	△ 12	△ 0.7
令和 3 年	25	16	9	42	21	21	△ 17	△ 1.0
令和 4 年	37	23	14	33	20	13	4	△ 0.3
令和 5 年	30	17	13	60	30	30	△ 30	△ 2.0

(資料：青森県の人口移動)

社会福祉
socinal welfare

●老齢人口の推移

区 分	世帯数(戸)	人口総数(人)	老齢人口(人)	老齢人口比率(%)
平成25年	979	2,223	808	36.3
平成26年	969	2,152	816	37.9
平成27年	962	2,107	814	38.6
平成28年	949	2,040	822	40.3
平成29年	942	1,974	822	41.6
平成30年	929	1,917	823	42.9
令和元年	916	1,842	826	44.8
令和2年	897	1,789	815	45.6
令和3年	875	1,728	793	45.9
令和4年	857	1,654	772	46.7
令和5年	840	1,599	760	47.5

(資料：住民基本台帳)

●一人暮らし老人数年度別推移

年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年
1人暮らし 老人数	112人	123人	132人	136人	139人	146人	145人	159人	151人	152人	159人	144人	138人	161人

(資料：風間浦村役場)

●特定健診等年度別受診状況

(単位：人)

	特定健診	大腸がん検診	胃がん検診	肺がん検診	乳がん検診	子宮がん検診
平成26年度	404	287	212	372	66	91
平成27年度	381	271	216	354	62	100
平成28年度	417	302	252	383	86	121
平成29年度	405	277	220	373	67	90
平成30年度	451	292	214	414	69	96
令和元年度	419	263	212	385	60	77
令和2年度	334	243	151	288	54	28
令和3年度	266	220	152	256	47	42
令和4年度	286	228	155	280	65	44
令和5年度	319	228	148	252	50	48

(資料：青森県総合健診センター集計より)

農業
agriculture

●農業の推移

区 分	単位	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
総 面 積	ha	6,980	6,980	6,980	6,982	6,953	6,956	6,958	6,960	6,960	6,955	6,955
耕 地 面 積	ha	84	51	48	35	31	28	19	8	7	5	13
農 家 人 口	人	1,798	1,234	1,165	926	729	595	382	69	16	16	55
農 家 数	戸	350	234	230	197	172	154	98	25	16	10	55
専業農家数	戸	3	0	1	1	8	7	0	0	1	1	0
専業農家率	%	0.9	0.0	0.4	0.5	4.7	4.5	0.0	0.0	6.3	10.0	0.0
第1種兼業農家率	%	3.1	1.3	2.8	1.0	0.6	5.2	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
第2種兼業農家率	%	96.0	98.7	97.8	98.5	94.8	90.3	99.0	68.0	81.3	83.8	100.0
農家一戸当耕地面積	ha/戸	0.24	0.22	0.21	0.18	0.18	0.18	0.19	0.32	0.43	0.50	0.24

(資料：農業センサス)

※農家数は、自給的農家も含む

商工業
commerce & industry

●工業の推移

区 分	事業所数	従業者数(人)	製造品出荷額等(千円)
平成10年	7	83	412,160
平成11年	9	129	792,130
平成12年	9	161	692,260
平成13年	8	151	637,940
平成14年	8	138	1,024,360
平成15年	8	147	1,008,090
平成16年	8	145	1,001,270
平成17年	8	141	1,084,860
平成18年	8	139	1,290,590
平成19年	8	152	1,188,270
平成20年	8	146	1,214,010
平成21年	7	121	871,370
平成22年	7	110	767,840
平成23年	6	118	740,130
平成24年	6	107	712,520
平成25年	6	110	711,980
平成26年	8	125	890,900
平成27年	6	108	661,040
平成28年	7	114	574,560
平成29年	5	85	485,180
平成30年	5	82	秘 匿
令和元年	5	75	504,250
令和2年	5	74	318,840

(資料：青森県の工業)

●商業の推移

区 分	商店数 総 数	常 時 従業者数 (人)	備 考
平成9年	47	107	商 業 統 計 調 査
平成14年	37	94	商 業 統 計 調 査
平成16年	37	99	商 業 統 計 調 査
平成18年	32	96	事業所企業統計調査
平成19年	31	68	商 業 統 計 調 査
平成21年	31	94	経済センサス基礎調査
平成24年	26	56	商 業 統 計 調 査
平成26年	24	53	商 業 統 計 調 査
平成28年	21	65	経済センサス活動調査
令和3年	16	38	経済センサス活動調査

(資料：令和3年経済センサス活動調査)

生活環境
life environment

●道路状況

令和5年4月1日現在

村 道					国 道
実延長（m）	面 積（㎡）	改良済延長（m）	舗装済延長（m）	自動車通行不可能道路延長（m）	総延長（m）
89,271	259,824	15,257	16,127	53,896	18,490

（資料：道路台帳）

●簡易水道

区 分	給水人口（人）	実績1日最大給水量（㎡／日）
平成19年度	2,590	1,118
平成20年度	2,519	1,116
平成21年度	2,473	1,118
平成22年度	2,447	1,121
平成23年度	2,355	1,127
平成24年度	2,290	1,131
平成25年度	2,189	1,187
平成26年度	2,135	1,130
平成27年度	2,083	1,179
平成28年度	2,014	1,179
平成29年度	1,960	1,179
平成30年度	1,898	1,180
令和元年度	1,832	1,122
令和2年度	1,771	1,180
令和3年度	1,727	1,060
令和4年度	1,653	1,053
令和5年度	1,598	1,103

（資料：地方公営企業決算状況調査）

●し尿処理状況

区 分	処理人口（人）	総排出量（㎏）	汲み取り量（㎏）	浄化槽汚泥（㎏）
平成19年度	2,638	1,743	927	816
平成20年度	2,520	1,702	659	1,043
平成21年度	2,499	1,574	650	924
平成22年度	2,467	1,513	610	903
平成23年度	2,409	1,455	538	917
平成24年度	2,334	1,405	520	885
平成25年度	2,255	1,486	537	949
平成26年度	2,163	1,412	499	913
平成27年度	2,119	1,337	497	840
平成28年度	2,061	1,336	470	866
平成29年度	1,998	1,344	426	918
平成30年度	1,925	1,307	614	693
令和元年度	1,863	1,269	476	793
令和2年度	1,809	1,269	641	628
令和3年度	1,744	1,252	447	805
令和4年度	1,706	1,220	484	736
令和5年度	1,632	1,228	368	860

（資料：下北地域広域行政事務組合）

●ごみ処理状況

区 分	処理人口（人）	処理量（t）	可燃物（t）	不燃物（t）
平成19年度	2,638	1,045	929	116
平成20年度	2,520	951	826	125
平成21年度	2,499	938	811	127
平成22年度	2,467	1,022	851	171
平成23年度	2,409	952	810	142
平成24年度	2,334	863	717	146
平成25年度	2,255	875	720	155
平成26年度	2,163	780	661	119
平成27年度	2,119	760	635	125
平成28年度	2,061	699	586	113
平成29年度	1,998	673	591	82
平成30年度	1,925	689	608	81
令和元年度	1,863	657	578	79
令和2年度	1,809	664	585	79
令和3年度	1,744	631	513	118
令和4年度	1,706	599	494	105
令和5年度	1,632	542	453	89

※不燃物には資源ごみを含む

（資料：下北地域広域行政事務組合）

交通
communication

●交通事故発生状況

（単位：件、人）

区 分	件 数	死 者	負 傷 者
平成19年	4	0	6
平成20年	5	0	11
平成21年	10	0	19
平成22年	6	0	11
平成23年	2	0	5
平成24年	2	0	2
平成25年	4	1	5
平成26年	3	1	3
平成27年	2	0	2
平成28年	6	0	7
平成29年	1	0	1
平成30年	1	0	1
令和元年	4	0	4
令和2年	1	0	1
令和3年	0	0	0
令和4年	2	0	2
令和5年	2	0	3

（資料：大間警察署回答）

●1歳6か月児・3歳児健診受診状況及びむし歯状況（本数）

健診受診状況

	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
1 歳 6 か月児	100.0%	100.0%	75.0%	100.0%	100.0%	88.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
3 歳 児	91.7%	100.0%	100.0%	92.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

（資料：地域保健健康増進事業報告より）

むし歯状況

	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
1 歳 6 か月児	0.0本	0.15本	0.0本	0.0本	0.0本	0.25本	0.0本	0.0本	0.0本	0.0本	0.0本	0.0本
3 歳 児	1.64本	1.55本	0.5本	2.67本	2.5本	3.5本	1.8本	0.25本	1.5本	1.0本	0.0本	3.5本

（資料：地域保健健康増進事業報告より）

●火災発生状況

区 分	種 別					件数合計	焼 失 面 積			損害額 (千円)
	建物	林野	船舶	車両	その他		建物(m ²)	林野(a)	船舶、車両の数	
平成27年	2	0	0	0	0	2	46	0	0	1,549
平成28年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成29年	1	0	0	0	0	1	0	0	0	691
平成30年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和元年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和2年	2	0	0	0	0	2	168	0	0	9,166
令和3年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和4年	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
令和5年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	6	0	0	0	0	6	214	0	0	11,406

(資料：消防年報)

●救急車要請状況

(単位：件)

区 分	総 数	交通事故	急 病	一般負傷	労 災	水 難	その他
平成26年	108	8	83	6	0	2	9
平成27年	107	7	85	10	0	0	5
平成28年	82	4	58	10	0	0	10
平成29年	103	13	67	14	1	1	7
平成30年	87	6	62	12	1	1	5
令和元年	106	11	78	13	0	0	4
令和2年	95	4	79	2	1	3	6
令和3年	104	7	76	11	1	0	9
令和4年	129	11	95	15	2	2	4
令和5年	97	4	77	5	0	0	11
令和6年	113	10	75	16	3	1	8

(平成7年から風間浦消防分署救急車配備)

(資料：風間浦消防分署救急統計)

●歴代組頭・団長

消 防 組 織	氏 名	就 任	退 任	備 考
初 代 消 防 組	越 膳 友 吉	大正4年1月15日	大正7年5月3日	組頭
二 代 消 防 組	能 渡 八 次 郎	大正7年5月4日	大正9年10月21日	〃
三 代 消 防 組	佐 賀 清 太 郎	大正9年12月22日	昭和元年12月31日	〃
四 代 消 防 組	林 嘉 蔵	昭和2年1月1日	昭和4年11月5日	〃
五 代 消 防 組	八 谷 理 之 助	昭和4年11月6日	昭和11年2月28日	〃
六 代 消 防 組	佐 賀 伊 四 郎	昭和11年3月1日	昭和14年3月31日	〃
初 代 警 防 団	佐 賀 伊 四 郎	昭和14年4月1日	昭和22年12月21日	団長
初 代 消 防 団	越 膳 吉 三 郎	昭和22年12月22日	昭和32年12月19日	〃
二 代 消 防 団	越 膳 友 蔵	昭和32年12月20日	昭和37年12月20日	〃
三 代 消 防 団	林 清 一	昭和37年12月30日	昭和55年12月30日	〃
四 代 消 防 団	山 根 正 造	昭和55年12月31日	平成2年11月10日	〃
五 代 消 防 団	丸 山 信 夫	平成2年11月11日	平成14年11月10日	〃
六 代 消 防 団	五 十 洲 光 男	平成14年11月11日	平成25年12月14日	〃
七 代 消 防 団	駒 嶺 敏 昭	平成25年12月15日	在 任 中	〃

(資料：消防年報)

防災
protection against disasters

●消防団員

(単位：人) 令和6年4月1日現在

区 分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	正規団員数	協力団員数	正規数計	協力員含む計
風間浦村消防団本部	1	2							3	3
本部分団(全 域)			1	1	2	2	10		16	16
第1分団(易国間)			1	1	1	2	5	9	10	19
第2分団(下風呂)			1	1	3	2	14	4	21	25
第3分団(蛇 浦)			1	1	3	1	16	0	22	22
第4分団(桑 畑)			1	1	2	2	7	5	13	18
合 計	1	2	5	5	11	9	52	18	85	103

(資料：消防防災・震災対策現況調査)

●風間浦村消防職員階級別構成

(単位：人) 令和6年4月1日現在

区 分	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	計 (人)
風間浦消防分署	0	6	7	1	2	3	19

(資料：消防年報)

●建物

令和6年4月1日現在

区 分	場所	現存数(棟)	備 考
庁 舎	易国間	1	消防分署、消防団本部
第1分団屯所	易国間	1	
第2分団屯所	下風呂	3	下風呂、畑尻、甲
第3分団屯所	蛇 浦	1	
第4分団屯所	桑 畑	1	
水 防 倉 庫	易国間	1	

(資料：消防年報)

●水利

(単位：基) 令和6年4月1日現在

区 分	防 火 水 槽				消火栓
	100立方米以上	60立方米以上 100立方米未満	40立方米以上 60立方米未満	20立方米以上 40立方米未満	
易国間地区	1	0	11	1	46
下風呂地区	1	0	15	5	45
蛇 浦 地 区	1	0	10	6	24
桑 畑 地 区	0	0	2	1	12
合 計	3	0	38	13	127

(資料：消防年報)

●消防車及び救急車両配置状況

令和6年4月1日現在

区 分	車 両 名	無線	ポンプ	社名	配置年		備 考
					ポンプ	車 両	
風間浦消防分署	水槽付ポンプ自動車	有	森 田	いすず	S61	S61	水 2,600リットル積載
	高規格救急自動車	有		日 産		H31	四輪駆動車
本 部	広 報 車	有		日 産		R 1	四輪駆動車
	水槽付ポンプ自動車	有	森 田	日 野	H16	H16	水2,000リットル積載
本 部 分 団	広 報 車	有		トヨタ		H26	四輪駆動車
第 1 分 団	普通消防ポンプ自動車	無	森 田	三 菱	H 4	H 4	四輪駆動車
	小型動力ポンプ付積載車	無	トーハツ	いすず	H22	H22	四輪駆動車
第 2 分 団	小型動力ポンプ付水槽車	有	トーハツ	日 野	H24	H 5	水 10,000リットル積載
	普通消防ポンプ自動車	無	森 田	三 菱	H10	H10	四輪駆動車
第 3 分 団	小型動力ポンプ付積載車	無	トーハツ	いすず	H25	H25	四輪駆動車
	小型動力ポンプ付積載車	無	トーハツ	いすず	H24	H24	四輪駆動車
第 4 分 団	小型動力ポンプ付積載車	無	トーハツ	いすず	H26	H26	四輪駆動車

(資料：消防年報)

●村内の宿泊施設現況

(単位：軒、人)令和6年4月1日現在

総数		ホテル		旅館		民宿	
軒数	収容人員	軒数	収容人員	軒数	収容人員	軒数	収容人員
11	427	2	260	6	141	3	26

(資料：宿泊事業者ヒアリング)

●むつ下北地域市町村別入込数の推移

(単位：人)

市町村名	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
むつ市	908,548	886,026	894,640	880,436	836,915	825,055	510,930	534,967	792,333	866,587
東通村	171,179	184,083	201,584	180,739	165,685	155,928	77,837	90,380	103,092	110,158
大間町	205,549	220,855	226,859	215,971	213,619	221,547	113,335	114,249	185,582	218,569
佐井村	139,712	124,430	129,134	123,258	122,366	124,529	72,517	80,185	123,179	164,706
風間浦村	38,183	48,970	51,934	55,663	67,166	65,034	49,633	59,478	62,875	65,981

(資料：青森県観光入込客統計)

●下風呂温泉観光客入込数

(単位：人)

区分		平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年
下風呂温泉観光客入込数A		176,550	180,620	169,920	162,771	156,137	136,369	124,149	124,883	158,256	146,131
Aのうち	県内客	113,480	111,370	110,650	86,194	82,310	50,677	48,723	73,666	65,834	56,444
	県外客	63,070	67,250	59,270	76,577	73,827	85,692	75,426	51,217	92,422	89,687
Aのうち	日帰客	59,020	69,050	94,260	111,665	106,712	91,017	85,352	89,517	122,915	111,490
	宿泊客	117,530	111,570	75,660	51,106	49,425	45,352	38,797	35,366	35,341	34,641

区分		平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
下風呂温泉観光客入込数A		132,088	138,077	136,660	120,227	118,649	52,922	59,429	26,524	22,644	21,385
Aのうち	県内客	63,739	49,385	49,430	51,219	40,560	20,981	25,034	東日本大震災により未集計	8,408	8,706
	県外客	68,349	88,692	87,230	69,008	78,089	31,941	34,395		14,236	12,679
Aのうち	日帰客	100,418	101,941	100,004	89,294	87,299	22,233	36,869		3,271	2,316
	宿泊客	31,670	36,136	36,656	30,933	31,350	30,689	22,560		19,373	19,069

(資料：宿泊事業者ヒアリング)

●小学校

(単位：人)令和6年5月1日現在

区分	学級数	児童数			教職員数		
		男	女	計	男	女	計
風間浦小学校	6	23	20	43	2	5	7

※学級数には、特別支援学級を含む。

(資料：学校基本調査)

●中学校

(単位：人)令和6年5月1日現在

区分	学級数	生徒数			教職員数		
		男	女	計	男	女	計
風間浦中学校	4	12	17	29	5	3	8

※学級数には、特別支援学級を含む。

(資料：学校基本調査)

●児童・生徒数の推移

(単位：人)

区分	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
小学校	218	211	219	205	193	180	170	162	141	133	142	126	107	99	100
中学校	111	109	108	105	104	114	114	113	108	92	79	67	76	76	67
計	329	320	327	310	297	294	284	275	249	225	221	193	183	175	167

区分	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
小学校	95	85	89	86	78	71	74	63	54	52	53	53	47	43
中学校	55	58	53	49	40	42	36	37	39	40	32	25	27	29
計	150	143	142	135	118	113	110	100	93	92	85	78	74	72

(資料：学校基本調査)

●中学校卒業者の就職率の推移

(単位：％)

区分	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
風間浦村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大間町	—	1.5	1.4	—	—	1.9	—	—	—	—	—	—
東通村	—	—	—	—	1.5	—	—	—	—	—	—	—
佐井村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
下北郡平均	—	0.6	0.6	—	0.7	0.7	—	—	—	—	—	—
むつ市	0.3	0.2	0.5	0.4	1.1	0.4	—	—	—	—	—	—
県平均	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3	0.2	0.3	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1

(資料：学校基本調査)

●高校進学率の推移

(単位：％)

区分	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
風間浦村	95.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
大間町	94.3	94.0	97.2	94.0	98.2	98.1	98.1	100.0	100.0	100.0	95.3	100.0
東通村	100.0	98.4	100.0	98.3	97.0	98.2	98.1	97.8	100.0	95.7	98.2	100.0
佐井村	100.0	100.0	95.7	100.0	100.0	95.7	100.0	95.0	100.0	100.0	91.7	90.9
下北郡平均	97.7	96.9	98.2	97.1	98.0	97.9	98.6	98.5	100.0	98.3	96.9	99.1
むつ市	96.5	97.7	98.1	98.8	98.7	98.5	98.2	98.3	98.9	98.7	99.6	99.5
県平均	98.2	98.4	98.6	99.0	99.0	99.1	99.2	99.2	99.3	99.4	99.2	99.1

(資料：学校基本調査)

●歴代村長

氏名	就任年月日	退任年月日
藤森啓助	明治22年6月	明治24年5月2日
大塚長勝	明治24年6月16日	明治36年6月15日
磯谷嘉蔵	明治36年6月16日	明治40年6月15日
佐藤恭助	明治40年7月1日	明治45年6月20日
佐々木正之助	明治45年7月2日	昭和9年4月13日
畑山末次郎	昭和9年4月13日	昭和16年10月2日
武田寅之助	昭和16年11月16日	昭和20年11月15日
永井武三郎	昭和21年4月24日	昭和34年10月25日
飯田源一郎	昭和34年11月20日	昭和42年11月19日
平井保光	昭和42年11月20日	昭和62年3月26日
小野愼一	昭和62年4月26日	平成15年4月25日
横浜力	平成15年4月27日	平成23年3月4日
飯田浩一	平成23年4月24日	平成29年1月4日
富岡宏	平成29年2月19日	現任中

（資料：風間浦村役場）

●歴代収入役

氏名	就任年月日	退任年月日
林与一郎		
広谷順治		
高橋仁太郎	明治44年5月18日	昭和2年2月
飯田浅蔵	昭和2年3月10日	昭和9年11月14日
武田寅之助	昭和10年3月22日	昭和14年3月29日
北村清助	昭和14年3月30日	昭和19年4月10日
林清一	昭和19年4月30日	昭和22年9月20日
能渡富市	昭和22年9月21日	昭和56年3月31日
越膳安治	昭和56年4月1日	平成5年3月31日
木下邦男	平成6年6月24日	平成14年6月23日

（資料：風間浦村役場）

●歴代教育委員会委員長

氏名	就任年月日	退任年月日
浅井 磧	昭和31年10月1日	昭和33年12月31日
高橋正治	昭和34年1月1日	昭和34年9月30日
八戸 衛	昭和34年10月1日	昭和42年1月5日
浅井 磧	昭和42年1月6日	昭和44年11月22日
工藤 捨三郎	昭和44年12月24日	昭和49年7月31日
鈴木 ソノ子	昭和49年10月1日	昭和51年9月30日
橘 幸一	昭和51年10月1日	平成2年9月30日
佐賀平一郎	平成2年10月1日	平成3年9月30日
柴垣弘美	平成3年10月1日	平成5年9月30日
佐賀平一郎	平成5年10月1日	平成9年9月30日
能渡栄蔵	平成9年10月1日	平成13年2月8日
柴垣弘美	平成13年2月9日	平成20年9月30日
佐賀敏一	平成20年10月1日	平成30年3月18日

（資料：風間浦村役場）

●歴代助役

氏名	就任年月日	退任年月日
中井 謙太郎		
佐々木 正之助	明治44年5月17日	明治45年7月1日
高橋 仁太郎	大正4年3月10日	昭和8年3月9日
畑山 末次郎	昭和8年4月27日	昭和9年4月12日
武田 寅之助	昭和10年3月15日	昭和16年11月15日
小平政元	昭和17年3月7日	昭和22年2月5日
飯田 源一郎	昭和22年8月18日	昭和34年11月12日
小平政元	昭和35年2月17日	昭和45年2月17日
平野 一三	昭和45年4月1日	昭和52年4月4日
横浜 重夫	昭和52年9月7日	昭和56年9月6日
小野 愼一	昭和56年9月28日	昭和62年4月18日
村口 稔	平成元年3月27日	平成9年3月26日
越膳 進	平成10年3月19日	平成14年3月18日

（資料：風間浦村役場）

●歴代教育長

氏名	就任年月日	退任年月日
浜谷 忠	昭和28年4月1日	昭和31年9月30日
佐賀平蔵	昭和31年10月1日	昭和32年12月31日
浅井 磧	昭和33年1月1日	昭和35年9月30日
長谷 八太郎	昭和35年10月1日	昭和41年12月31日
八戸 衛	昭和42年1月6日	昭和51年4月25日
林 達三	昭和51年9月7日	平成10年9月30日
三浦立博	平成10年10月15日	平成15年5月31日
林 義信	平成15年6月23日	平成19年5月31日
越膳泰彦	平成21年3月23日	令和3年9月30日
村上純一	令和3年10月1日	現任中

（資料：風間浦村役場）

●監査委員

令和6年4月1日現在

学識経験者	佐賀英樹
議会選出	杉山太

（資料：風間浦村役場）

●農業委員

令和6年4月1日現在

役職名	氏名
会長	木下重利
会長職務代理	浜辺孝夫
委員	菊池富士子
〃	澤井まち子
〃	杉山國雄
〃	高橋宗隆
〃	山本 巖

（資料：風間浦村役場）

区分		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
下風呂温泉観光客入込数A		21,677	23,208	26,518	25,383	37,947	32,285	39,578	45,149	48,607
Aのうち	県内客	9,260	9,158	7,622	7,277	19,629	9,428	35,571	35,159	39,454
	県外客	12,417	14,050	18,896	18,106	18,318	22,857	4,007	9,990	9,153
Aのうち	日帰客	3,009	2,705	2,162	2,452	15,685	19,138	29,300	31,607	35,486
	宿泊客	18,658	20,503	24,356	22,931	22,262	13,147	10,278	13,390	12,927

（資料：宿泊事業者ヒアリング）

●一般会計の年度別推移

(単位：千円)

区 分	歳 入	歳 出
平成30年度	2,718,166	2,650,558
令和元年度	2,760,519	2,682,535
令和2年度	3,532,245	3,462,012
令和3年度	3,307,052	3,201,381
令和4年度	3,162,003	3,107,806
令和5年度	2,976,954	2,889,397

(資料：風間浦村歳入歳出決算書)

●特別会計の年度別推移

国民健康保険特別会計

(単位：千円)

区 分	歳 入	歳 出
平成30年度	288,619	285,866
令和元年度	279,037	276,155
令和2年度	242,785	236,809
令和3年度	267,954	255,544
令和4年度	262,155	255,042
令和5年度	279,571	271,764

(資料：風間浦村歳入歳出決算書)

介護保険特別会計

(単位：千円)

区 分	歳 入	歳 出
平成30年度	355,799	341,303
令和元年度	363,984	326,388
令和2年度	365,647	338,676
令和3年度	349,483	312,392
令和4年度	348,465	313,837
令和5年度	341,176	317,885

(資料：風間浦村歳入歳出決算書)

下風呂財産区一般会計

(単位：千円)

区 分	歳 入	歳 出
平成30年度	16,430	13,959
令和元年度	16,277	12,358
令和2年度	13,666	9,013
令和3年度	4,785	4,436
令和4年度	716	413
令和5年度	688	370

(資料：風間浦村歳入歳出決算書)

簡易水道特別会計

(単位：千円)

区 分	歳 入	歳 出
平成30年度	108,004	106,856
令和元年度	149,382	147,846
令和2年度	158,216	155,229
令和3年度	244,719	233,158
令和4年度	519,522	499,214
令和5年度	140,486	133,897

(資料：風間浦村歳入歳出決算書)

後期高齢者医療特別会計

(単位：千円)

区 分	歳 入	歳 出
平成30年度	25,570	25,570
令和元年度	32,412	32,412
令和2年度	30,610	30,610
令和3年度	31,296	31,296
令和4年度	28,309	28,309
令和5年度	31,793	31,793

(資料：風間浦村歳入歳出決算書)

易国間財産区一般会計

(単位：千円)

区 分	歳 入	歳 出
平成30年度	665	44
令和元年度	855	76
令和2年度	1,022	207
令和3年度	1,042	151
令和4年度	1,109	77
令和5年度	2,214	109

(資料：風間浦村歳入歳出決算書)

●選挙管理委員

令和6年4月1日現在

役 職 名	氏 名
委 員 長	濱 遣 緑
職 務 代 理 者	池 田 修
委 員	川 崎 たつ子
〃	金 橋 謹 一

(資料：風間浦村役場)

●選挙人名簿登録者数

令和6年3月1日現在

投 票 区	男 女 別(人)	計(人)
第1投票区 (易国間地区)	男 256 女 276	532
第2投票区 (下風呂地区)	男 192 女 213	405
第3投票区 (甲地区)	男 62 女 64	126
第4投票区 (蛇浦地区)	男 174 女 174	348
第5投票区 (桑畑地区)	男 40 女 44	84
合 計	男 724 女 771	1,495

(資料：風間浦村役場)

●歴代議会副議長

氏 名	在 籍 期 間	
	自	至
越 膳 吉 三 郎	昭和22年 5 月12日	昭和22年 8 月17日
佐 賀 喜 一 郎	昭和22年 8 月18日	昭和26年 4 月30日
鈴 木 浅 治 郎	昭和26年 5 月12日	昭和30年 4 月30日
横 浜 金 治	昭和30年 5 月12日	昭和34年 4 月30日
酢 谷 彰 治 郎	昭和34年 5 月10日	昭和38年 4 月30日
酢 谷 倉 造	昭和38年 5 月 7 日	昭和42年 4 月30日
菊 池 五 三 郎	昭和42年 5 月 4 日	昭和42年 6 月22日
横 浜 忠 治 郎	昭和42年 6 月23日	昭和46年 9 月 5 日
木 下 順 象	昭和46年 9 月 6 日	昭和50年 4 月30日
則 田 忠 雄	昭和50年 5 月11日	昭和54年 4 月30日
越 膳 常 太 郎	昭和54年 5 月 1 日	昭和58年 4 月30日
伊 勢 寿 光	昭和58年 5 月 2 日	昭和62年 4 月30日
酢 谷 利 巳	昭和62年 5 月 1 日	平成元年12月21日
蛸 島 敏 春	平成元年12月27日	平成 3 年 4 月30日
金 田 一 源 五 郎	平成 3 年 5 月 1 日	平成11年 4 月30日
平 井 賢 一	平成11年 5 月 6 日	平成15年 4 月30日
能 渡 利 雄	平成15年 5 月 1 日	平成17年 4 月 4 日
飯 田 浩 一	平成17年 4 月 5 日	平成19年 4 月13日
蛸 島 敏 春	平成19年 5 月 1 日	平成23年 4 月30日
川 本 次 郎	平成23年 5 月 2 日	平成27年 4 月30日
杉 山 太	平成27年 5 月 1 日	平成31年 4 月30日
平 井 賢 一	令和元年 5 月 7 日	令和 4 年 5 月13日
中 嶋 茂	令和 4 年 6 月 8 日	令和 5 年 4 月30日
蛸 島 巨	令和 5 年 5 月 1 日	現 任 中

(資料：風間浦村役場)

●歴代議会議長

氏 名	在 籍 期 間	
	自	至
佐 賀 伊 四 郎	昭和22年 5 月12日	昭和22年 8 月17日
越 膳 吉 三 郎	昭和22年 8 月18日	昭和26年 4 月22日
佐 賀 喜 一 郎	昭和26年 5 月12日	昭和30年 4 月30日
鈴 木 浅 治 郎	昭和30年 5 月12日	昭和34年 4 月30日
坂 本 武 次 郎	昭和34年 5 月10日	昭和42年 4 月30日
酢 谷 倉 造	昭和42年 5 月 4 日	昭和46年 9 月 5 日
横 浜 忠 治 郎	昭和46年 9 月 6 日	昭和54年 4 月30日
横 浜 巳 千 三	昭和54年 5 月 1 日	昭和62年 4 月18日
木 下 順 象	昭和62年 5 月 1 日	平成元年12月26日
酢 谷 利 巳	平成元年12月27日	平成 3 年 4 月30日
杉 山 勉	平成 3 年 5 月 1 日	平成11年 4 月30日
家 政 勝 政	平成11年 5 月 6 日	平成15年 4 月30日
蛸 島 敏 春	平成15年 5 月 1 日	平成16年 6 月11日
山 本 勉	平成16年 6 月11日	平成17年 4 月28日
平 井 賢 一	平成17年 4 月28日	平成19年 4 月30日
木 下 秀 一	平成19年 5 月 1 日	平成23年 4 月30日
蛸 島 敏 春	平成23年 5 月 2 日	平成27年 4 月30日
金 森 一 規	平成27年 5 月 1 日	平成31年 4 月30日
杉 山 太	令和元年 5 月 7 日	令和 5 年 4 月30日
能 登 勝 彦	令和 5 年 5 月 1 日	現 任 中

(資料：風間浦村役場)

公共施設及び 主要機関一覧表 *facilities & organ*

施 設 名 称	所 在 地	電 話 番 号
風 間 浦 村 役 場	風間浦村大字易国間字大川目28番地 5	0 1 7 5 - (3 5) 2 1 1 1
中 央 公 民 館	〃	(3 5) 2 2 1 0
下 風 呂 公 民 館	〃 大字下風呂字下風呂 1 番地	(3 6) 2 0 0 1
蛇 浦 公 民 館	〃 大字蛇浦字蛇浦17番地 3	(3 5) 2 8 0 9
桑 畑 公 民 館	〃 大字易国間字二夕川 2 番地 2	(3 5) 2 8 0 8
甲 集 会 所	〃 大字下風呂字甲平ノ下 2 番地 3	(3 6) 2 8 3 6
種 苗 供 給 施 設	〃 大字蛇浦字潜石10番地 2	(3 5) 2 4 3 1
風 間 浦 消 防 分 署	〃 大字易国間字大川目28番地 5	(3 5) 2 1 0 1
風 間 浦 保 育 所	〃 大字易国間字古野18番地 4	(3 5) 2 0 4 0
総合福祉センターげんきかん	〃 大字易国間字大川目11番地 2	(3 5) 3 1 1 1
風 間 浦 診 療 所	〃	(3 5) 2 0 0 1
清 掃 セ ン タ ー	〃 大字蛇浦字潜石19番地87	(3 5) 2 8 1 1
風 間 浦 小 学 校	〃 大字易国間字古野18番地 2	(3 1) 1 8 3 1
風 間 浦 中 学 校	〃 大字易国間字古野18番地 1	(3 5) 2 0 1 3
社 会 福 祉 協 議 会	〃 大字易国間字大川目11番地 2	(3 5) 2 2 4 3
桑畑温泉「湯ん湯ん♪」	〃 大字易国間字湯ノ上 1 番地 1	(3 2) 6 0 4 5
活 イ カ 備 蓄 セ ン タ ー	〃 大字下風呂字下風呂127番地	(3 6) 2 1 1 2
下風呂温泉「海峡の湯」	〃 大字下風呂字下風呂71番地 1	(3 3) 2 1 1 6